

# 黒潮

和歌山県看護協会 会報

平成22年5月発行

第111号

## 発行所

和歌山県看護協会

〒641-0036

和歌山市西浜1014-27

TEL:073-446-0605

FAX:073-446-0899

<http://www.wakayama-kangokyoikai.or.jp>

## 発行人

木村 佐多子



道成寺

写真撮影：広報委員

## CONTENTS

- |                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| • 通常総会に向けて …………… 2  | • 助産師のコーナー …………… 17       |
| • 平成22年度 通常総会プログラム  | • 看護師のコーナー …………… 17       |
| 理事会報告 …………… 3       | • 認定看護師のコーナー              |
| 第一号議案～第四号議案 …………… 4 | (トピックス2010) …………… 18      |
| 第五号議案 …………… 5       | • MY SCHOOL …………… 19      |
| 職能委員会報告 …………… 7     | • リレーエッセイ 友達の輪 …………… 19   |
| 常任委員会報告 …………… 8     | • 私の○○ …………… 19           |
| 特別委員会報告 …………… 10    | • プレゼント(東洋羽毛関西販売株協賛) … 20 |
| 地区支部報告 …………… 13     | • やさしい倫理だより …………… 21      |
| • 保健師のコーナー …………… 17 | • 和歌山県看護協会の動き …………… 22    |

## 和歌山県看護協会 会員数

平成22年5月13日現在

会員総数	4,923名
名誉会員	1名
保健師	117名
助産師	172名
看護師	4,207名
准看護師	426名

# 平成 22 年度通常総会に向けて

社団法人和歌山県看護協会 会長 木村 佐多子

木々の若葉が一斉に芽吹き新緑が目にも鮮やかな季節となりました。各施設ではそれぞれ新人を迎え、活気と緊張の日々をお過ごしのことと存じます。お陰をもちまして、21年度事業も、理事会や各委員会・各支部活動等のご活躍により、順調に進めることができましたことから感謝申し上げます。

平成 22 年度総会では、その活動報告と共に、22 年度の事業計画（案）等を提案させていただきます。多くの会員の皆様のご参加のもと、活発で建設的なご意見を頂けることを期待しております。

現在、わが国は急激な少子高齢化を迎え、疾病構造の変化、国民の医療ニーズの多様化、更に昨年は、社会医療経済の悪化や政権交代等、医療・看護を取り巻く環境は激変しています。加えて、昨年 7 月には、「保助看法と看護師等人材確保法」の一部改正で、看護師国家試験受験資格に「大学卒業」を明記「保健師、助産師の教育年限を 1 年以上」、「看護職の卒後研修」の努力義務が規定され、本人は勿論、国や病院等の開設者の責任も明記されました。これは、看護の質向上、医療安全の確保、早期離職防止の観点からも大変重要です。いずれも今年四月から実施され、当協会でも県委託事業として「研修責任者研修事業」を 5 回シリーズで始めたところです。各医療施設でも、国や日本看護協会から示されるガイドラインやガイド等を参考に体制整備が進むことを願っています。また、厚生労働省の「チーム医療の推進に関する検討会」では、看護職の役割と裁量権の拡大についても議論され、今後より一層、専門職としての活躍の場が拡大していきます。看護職能団体として、各職能が専門性を発揮して、県民の期待に応えていかねばなりません。

21 年度開講の「認定看護管理者制度セカンドレベル教育」は、受講者 25 名全員が修了し、それぞれ、看護管理者として、更にご活躍頂けることと考えています。22 年度も引き続きファーストレベル、セカンドレベル共に開催致しますので多数のご参加を期待しています。また、ナースセンター事業（県委託事業）として、昨年度事業に加えて、「看護職員研修事業」と共に「潜在看護職員復職支援事業」を実施し、潜在看護職の登録の促進や研修等、看護職確保定着推進に努めます。

新公益法人移行に関しては、日看協は 23 年 4 月からの移行で進んでおり、その状況を踏まえて、今年度、プロジェクトチームを立ち上げました。活動理念や定款の見直し等、黒潮やホームページ等で情報を提示し、会員の皆様のご意見も伺いながら体制を整えてまいります。

組織強化に関しましては、平成 21 年度は、会員数は目標を下回り 5,276 名となっております。22 年度は 5,400 人を目標として、各職能委員会や地区支部活動を中心として、魅力ある協会活動を展開し、会員拡大に取り組んでまいります。

今年度のスローガン（案）は、「ライフサポーターとして、看護の専門性を強化・結集して、社会の期待に応えます」として、重点事業（案）6 項目を掲げました。

予想を遥かに超える勢いで変革が進む中、取り組むべき課題が山積していますが、これからの医療・看護を取り巻く社会の変化をしっかりと捉えて、役職員一同力を合わせて、県民や会員の期待される協会作りに勤めてまいりますので、今後も会員の皆様のご支援・ご協力宜しくお願い申し上げます。

## 平成 22 年度 和歌山県看護協会

● 日程：平成 22 年 6 月 12 日（土）

12:20	開 場
12:50	オリエンテーション
13:00	開 会 会長挨拶 来賓祝辞（来賓紹介・祝電披露） 和歌山県看護協会会長表彰 (休 憩)
13:50	議長団選出 議事録署名人選出 平成 21 年度総会議事録朗読
14:00	報告事項 理事会報告

## 通常総会プログラム

● 場 所：和歌山県民文化会館 小ホール

	職能委員会報告 常任委員会・特別委員会報告 地区支部報告 議決事項 (第一号議案～第五号議案)
16:15	選 挙 新役員紹介 旧役員への謝辞 旧役員の挨拶 綱領宣言 看護協会歌合唱
16:30	閉 会

# 理 事 会 報 告

## I 理事会等開催状況

### 1. 常務理事会

回	開 催 日	時 間	出 席 者	
			常務理事	
1	平成 21 年 4 月 28 日	10:00～12:30	7	
2	平成 21 年 6 月 19 日	13:30～17:00	7	
3	平成 21 年 8 月 7 日	10:00～12:20	7	
臨時	平成 21 年 9 月 8 日	13:30～16:30	8	
4	平成 21 年 11 月 6 日	10:00～12:30	7	
5	平成 22 年 2 月 5 日	13:30～17:00	7	
6	平成 22 年 3 月 26 日	10:00～12:30	8	

### 2. 理事会

回	開 催 日	時 間	出 席 者			
			常務理事	理事	監事	事務局
1	平成 21 年 4 月 28 日	15:00～17:00	6	7	2	2
2	平成 21 年 6 月 2 日	15:00～16:10	6	7	2	2
3	平成 21 年 7 月 1 日	10:00～12:30	8	7	1	2
4	平成 21 年 8 月 7 日	13:30～16:30	6	8	1	2
5	平成 21 年 11 月 6 日	13:30～17:10	7	8	2	2
臨時	平成 22 年 1 月 18 日	13:00～16:10	7	7	2	2
6	平成 22 年 3 月 26 日	13:30～17:00	8	8	2	2

### 3. 理事・各委員長・地区支部長合同運営会議

回	開 催 日	時 間	出 席 者				
			常務理事	理事	監事	委員長	事務局
1	平成 21 年 4 月 28 日	13:30～15:00	6	7	2	13	2
2	平成 21 年 7 月 1 日	13:30～15:40	8	8	1	13	2

### 4. 代議員会開催状況

回	開 催 日	出 席 者	
		代 議 員	
1	平成 21 年 5 月 13 日	23	

## II 理事会主な協議事項

### 第 1 回理事会 平成 21 年 4 月 28 日（水）15:00～17:00

- 報告事項
  - 法人委員会報告
  - 平成 20 年度事業実施報告
  - 平成 20 年度決算報告
- 協議事項
  - 看護研修センター土地確保と建設について経過報告
    - 平成 20 年度通常総会第 7 号議案について経過報告
    - 新看護研修センター建設資金準備積立金について
    - 和歌山県看護協会定款の一部改正について
- その他
  - 推薦委員及び代議員変更について
  - 建設資金への寄贈について
  - 総会役割について
  - 事務長交代について

以上承認される

### 第 2 回理事会 平成 21 年 6 月 2 日（火）15:00～16:30

- 通常総会に向けての最終確認
  - 通常総会への提案事項 第 6 号議案  
看護研修センターの土地取得と建設計画についての報告（案）  
並びに新看護研修センター建設資金準備積立金について（案）
- その他
  - 施設会員代表者会議について
  - その他

以上承認される

### 第 3 回理事会 平成 21 年 7 月 1 日（水）10:00～12:30

- 確認及び協議事項
  - 新役員・理事の紹介
  - 定款及び組織機能図について
  - 平成 21 年度和歌山県看護協会通常総会に基づく事業実施について
- 円滑な事業運営（理事会・合同会議等の年間計画）について
- 常任委員会・特別委員会への諮問事項について
- 第 6 号議案看護研修センターの土地取得と建築計画についての報告並びに新看護研修センター建設資金準備積立金について
  - 社団法人和歌山県看護協会細則の一部変更について
  - トランスコスモス施設借用について
- 公益法人制度改革に向けた準備について
- 平成 21 年度地区支部活動及び助成金について
- 平成 22 年度本協会・県協会の運営に関する提案・要望について  
以上承認される

### 第 4 回理事会 平成 21 年 8 月 7 日（金）10:00～12:30

- 報告事項
  - 法人委員会報告
  - 都道府県職能委員長会報告
- 協議事項
  - 施設代表者会議開催について
  - 県ナース章の推薦について
  - 看護研修センター土地確保と建設について
    - ①社団法人和歌山県看護協会細則の一部改正について
  - 地区別法人会について  
以上承認される

### 第 5 回理事会 平成 21 年 11 月 6 日（金）10:00～12:30

- 講演 「新公益法人について」
- 報告事項
  - 地区別法人委員会・職能委員長会報告
  - 平成 21 年度中間監査報告及び事業経過報告
  - 第 7 次看護職員需要見通しの策定について
  - 看護研修センター建設推進委員会会議経過報告
  - 認定看護管理者セカンドレベル教育課程について
  - その他
    - 関連団体への会議出席について
    - 叙勲受章者について
- 協議事項
  - 和歌山県看護協会における新公益法人移行へのスケジュール（案）
  - 平成 23 年度日本看護協会総会代議員及び予備代議員の選出について
  - 平成 22 年度事業計画に向けての提案・要望事項について
  - その他  
以上承認される

### 臨時理事会 平成 22 年 1 月 18 日（月）13:00～16:30

- 日本看護協会の政策を推進するための方策について
- 平成 23 年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について  
以上承認される

### 第 6 回理事会 平成 22 年 3 月 26 日（金）13:30～17:00

- 協議事項
  - 平成 22 年度事業計画（案）について
    - スローガン（案） 重点事業（案）
    - 事業計画（案）
    - 教育計画
  - 平成 22 年度一般会計予算（案）について
  - 新看護研修センター土地確保と建設について
    - 公益法人移行に向けて
    - 平成 23 年度日本看護協会総会代議員選出について
- 報告事項
  - 平成 21 年度第 1 回審議会報告
  - 平成 21 年度第 2 回都道府県職能委員長会報告
  - その他
    - 平成 22 年度和歌山県看護協会会長表彰推薦について
    - 看護協会ネットワークシステムについて
    - 和歌山県看護専門学校 2 年課程（通信制）進学者に対する奨学金募集について
    - その他  
以上承認される

第一号議案 平成 21 年度事業報告 (案)  
 第二号議案 決算報告 (案) 及び監査報告 (案)

第三号議案 **平成 22 年度 和歌山県看護協会のスローガン (案)**

「ライフサポーターとして、看護の専門性を強化・結集して、社会の期待に応えます」

第四号議案 **平成 22 年度 事業計画 (案)**

重点事業(案)

- 看護職能団体としての組織力の強化
- 看護職の確保・定着に向けた事業推進
- 社会変化に即応した継続教育の推進と看護職のキャリア開発への支援
- 県民の時代の要請に対応した三職能の専門性の強化
- 安全で安心な療養生活を支える訪問看護の推進
- 新公益法人制度における新公益法人に向けての体制づくり

項目	目標	事業	事業および内容
I 組織の強化	1) 協会組織強化	(1) 会員数の増加・拡大	①目標 5,400 人を目指す ②看護教育機関への働きかけ ・行事への参加 (入学式・戴帽式・卒業式参加・祝電) ・県看護教育機関連絡協議会との連携 ③セカンドキャリア会員の増加促進 ④未加入施設等への働きかけ ・地区支部や各職能委員会との連携による働きかけ ⑤職能委員会による働きかけ
	(2) 地区支部との連携及び支援	①連携のための協議と情報交換 ・施設会員代表者会議開催 年 2 回 ・合同研修 1 回 地区支部単位 1 回 ・事業展開のための要望・提案 ②助成金の交付 ③④ホームページ活用 (eメール・インターネット活用)	
II ナースセンター事業	2) 会員サービスの充実	(1) 会員等への情報提供	①タイムリーな情報提供 (ホームページ・eメール他) ②「黒潮」会報年 4 回発行 ③看護職賠償保険加入の案内
	(2) 研修による啓発	①新入会員オリエンテーション(6月 29 日) ・研修会 会員ハンドブック・定款・会員バッジ等配布 ②教育研修計画に準ずる ③看護者の倫理綱領の普及啓発	
I 組織に関する事項	1) 円滑な組織運営	(1) 諸会議開催に関すること	①通常総会 年 1 回以上 ②常務理事会 年 6 回以上 ③理事会 年 6 回 ④理事・各委員長合同会議 年 2 回 ⑤代議員会 年 1 回 ⑥監査 年 2 回以上 ⑦職能委員長会 年 2 回以上 ⑧各委員会(常任・特別) 適宜 ⑨各職能別集会 年 1 回
		(2) 日本看護協会開催の諸会議に関すること	①通常総会 年 1 回 ②審議会 年 1 回 ③法人委員会 年 2 回 ④近畿地区法人会・職能委員長会 年 1 回 平成 22 年度 担当は京都府看護協会(10/4,5)
		(3) 日本看護協会との連携	①各種調査や各種事業への協力
	2) 広報活動	(1) 会報「黒潮」の充実	①県看護協会ホームページの活用 ②機関紙「黒潮」の内容充実(4 回発行) ホームページによる公開 ③協会員参画型の紙面づくり
		(2) 会員の福利厚生	①個人情報保護とその取扱整備 ②個人情報取扱いマニュアルの運用 (2) 各章候補者の推薦 ①日本看護協会会長表彰・県ナース賞 ・県看護協会会長表彰他 (3) 慶弔見舞他 ①慶弔・災害見舞等 ②役員・委員等の公務災害補償等
		4) 公益法人制度改革への対応	(1) 新公益法人認定に向けての準備 ①プロジェクトチームの立ち上げ ・情報収集と情報提供 ・現状分析と協会事業の見直し ・新公益法人に向けた新定款等の検討
5) 新看護研修センター建設に関する検討	(1) 建設に関する検討と情報の提供	①看護研修センター建設に関する具体的検討 HP や機関誌による広報 ②トランスコスモスの使用に関するアンケート調査	
6) 事務局運営体制強化	(1) 事務局組織の改編と事業運営の強化	①組織の見直し ②各役割と業務の見直し	
II ナースセンター事業	1) ナースセンター事業強化	(1) 就業に関する相談指導及び斡旋	①ナースセンター便り発行(年 4 回) ②求職・求人登録の推進 ③求職者への相談支援 ④看護学生就業支援(就職説明会への参加)
		(2) 行政及び関係機関との連携	①近畿地区間での連携と情報交換 ②県及び中央ナースセンターとの連携

項目	目標	事業	事業および内容
II ナースセンター事業	2) 看護職確保と職場定着促進	(1) 看護職の再就業支援及び職場定着促進	①看護職職能・社会経済福祉委員会との連携 ②再就業・離職防止相談事業の強化 ③④リフレッシュ研修(新人・中堅看護職対象) ⑤中堅看護職員実務研修(3 回×3 日間) ⑥看護職確保定着推進事業の趣旨周知 ・看護管理者や看護学生への働きかけ
	(2) 潜在看護職復職支援事業(地域医療再生計画)	①潜在看護職登録システムの整備 ・登録の促進 ・潜在看護職復職支援研修	
	(3) 新人看護職員研修責任者研修	①研修責任者研修開催(5 回) ②研修実施評価と次年度の計画	
	3) 第 4 次 NCCS システムの管理と運用	(1) 第 4 次 NCCS システムのスムーズな活用 (2) セカンドキャリア登録の促進と積極的な活用	① NCCS 稼働状況の評価
	4) 「看護の心」の普及事業	(1) 「看護の日」「看護週間」事業	①「ふれあい看護体験」県内高校生対象 ②各地区「看護の日」事業の実施 ③「1 日まちの保健室」開催
III 看護実践に関する事項	3 職能合同活動	1) 看護の質保証の推進	(1) 看護者の倫理観の育成 ①関連研修等による指針普及と啓発 ②倫理便り 黒潮発行時配布(看護職職能委員会)
		2) 各職能委員会活動	(1) 各職能の連携強化と各専門性の強化 ①各職能の連携強化と各専門性の強化 ②各職能間の課題の検討
		3) 会員数増を目指す、三職能委員会の組織強化を図る	(1) 組織強化のための看護協会の PR と働きかけ ①各職能就業施設代表者への働きかけ ②未加入施設への訪問
III 看護実践に関する事項	1) 保健師の専門性を発揮していきと活動する	(1) 保健指導を担う人材育成	①研修会の開催 ②県健康づくり推進課と連携
		(2) 日本看護協会と協働	①保健師の活動基盤に関する基礎調査(第 2 回目) ②保健師職能委員会による研修会開催
		(3) 地域住民の健康増進	①保健指導の充実 ②「まちの保健室」への協力
		(4) 会員獲得に向けての取り組み	①保健師職能委員会により作成の検討
III 看護実践に関する事項	1) 助産師の質向上を図り主体的な活動を支援する	(1) 助産師外来・院内助産院の普及と質向上の推進	①院内助産院開設に向けてのサポート体制の明確化 ②日本看護協会「院内助産ガイドライン」の普及 ③院内助産院設立に向けた助産マネジメントの推進 ④助産師職能委員会による研修会開催
		(2) 地域住民の健康増進	①「まちの保健室」への協力(助産ブース設置) ・乳がん検診・子宮がん検診のアピールをする
		(3) 思春期保健指導と子育て支援	①出前教室による保健指導(小・中・高の学校対象) ②命の教育の必要性・保護者を含めた教育
III 看護実践に関する事項	1) 安全・安心納得の看護の提供と看護職の質向上	(1) 看護の質向上を目指す看護専門職としての能力開発を促進する	①認定看護師交流会への支援 ②新人看護職員研修制度の実施把握と充実に向けた取り組み
		(2) 組織強化のための看護協会の魅力の PR と会員増	①未加入施設への訪問 ②看護協会脱退者へのアンケート調査
		(3) 地区支部活動との連携	①地区支部活動への参加 ・職能委員会での取り組み報告と情報共有
		(4) 看護者の倫理綱領の推進	①やさしい倫理だより(機関紙「黒潮」で)発行

項目	目標	事業	事業および内容
III 看護実践に関する事項	医療安全	1) 医療・看護における安全対策	(1) 医療安全体制の強化 ①医療安全管理者養成研修(7 回) ②近畿地区リスクマネージャー交流会開催(12/16) 当県担当 ③県内リスクマネージャー交流会開催 ④安全情報の提供 (2) 事故発生時の対応 ①会員に対する相談・支援 ②看護職賠償責任保険の普及 ③医療安全に関する情報提供 ④ガイドラインの普及推進
		災害看護支援体制の整備	(1) 災害時の看護支援体制の検討 ①災害看護支援ナース登録促進 ②災害看護支援ナースの養成研修 ③災害時医療救護におけるリーダー養成 ④マニュアル完成と浸透 (2) 災害への備えと支援活動のネットワークの強化 ①県災害対策本部との連携と災害支援ナース派遣 ②日本看護協会と各都道府県合同訓練 ③被災県看護協会への災害支援ナース派遣
III 看護実践に関する事項	IV 県民の健康づくりの推進	1) 「まちの保健室」事業の充実	(1) 「まちの保健室」活動 ①「まちの保健室」開催 奇数月の第 3 土曜日・看護週間における「1 日まちの保健室」の開催 ②セカンドキャリア登録と活用 ③各職能委員との連携した活動
		高齢者の権利擁護	①高齢者権利擁護実務看護職員研修(県委託事業) ②高齢者権利擁護推進員養成研修(県委託事業)
III 看護実践に関する事項	V 教育に関する事項	1) 専門職としての教育研修の推進	(1) 社会の動きに対応できる継続教育の推進 ①平成 22 年度会員教育計画の実施と評価 ・教育計画に沿って ②研修の参加申込みの簡素化(ホームページ活用) ③環境整備 インターネットでの文献検索の充実
		1) 研究活動推進	(1) 和歌山県看護研究会開催 ①企画・運営(開催予定日 H22 年 2/26) 評価 (2) 近畿地区看護研究会への参加 ①開催協力と参加呼びかけ(兵庫県)(H22 年 12/10) (3) 図書整備と活用支援 ①図書の整備と活用支援 ②インターネットによる文献検索の支援
III 看護実践に関する事項	VI 社会福祉経済の向上に関する事項	1) 認定看護管理者教育課程の円滑な運営	(1) 認定看護管理者制度教育課程運営委員会開催 ①受講者の募集と受講者決定 ②教育課程の履修・評価・修了認定 ③フォローアップ研修の企画 ④ファースト・セカンドレベル教育実行委員会との連携 (2) ファーストレベル研修実行委員会 ①ファーストレベル教育課程研修開催(6 月 22 日~150 時間) 研修の運営・評価と次年度の企画 (3) セカンドレベル研修実行委員会 ①セカンドレベル教育課程研修開催(9 月 2 日~180 時間) ②研修の企画・運営・評価と次年度の企画 (4) 認定看護管理者制度教育課程審査への準備と対応 ①審査に向けての準備(11 月予定)
		2) 看護管理者育成	(1) 看護管理者研修 ①教育計画継続教育に準ずる ②施設会員代表者会議における研修会開催
III 看護実践に関する事項	VII 看護制度問題に関する事項	1) 看護職の確保と定着推進	(1) ワーク・ライフバランスの推進 ①看護職が働き続けられる職場作りに関する情報提供 ・ナースセンター事業や看護職能委員会との協働 ②ワークライフバランス導入施設紹介 ③「看護職の労働安全衛生」「就業規則」等指針普及 ④ E P A に関する情報収集と情報提供 (2) 看護職のたばこ対策推進 ①禁煙支援リーダーの活動への支援 ②禁煙対策推進施設紹介 ③関連団体との協働と連携
		1) 准看護師問題への対応	(1) 准看護師から看護師への移行促進 ①看護師養成二年課程入学支援 ・進学に関する相談対応と支援 ・進学支援のための情報提供 ②准看護師研修会・交流会開催
III 看護実践に関する事項	VIII 啓発に関する事項	2) 看護基礎教育の検討に関する対応	(1) 看護基礎教育制度改革と卒後研修制度創設についての検討 ①厚労省等での検討報告書等の情報提供 ②日本看護協会の方針に基づき連携する
		1) 社会へ看護について啓発	(1) 看護協会活動の広報 ①「看護の日」の PR ②「1 日まちの保健室」各地区支部で開催 ③関係団体への後援・協賛依頼への協力
III 看護実践に関する事項	IX 政策に関する事項	1) 看護関連政策の実現	(1) 看護政策に関する検討 ①保健医療福祉制度の動向の情報提供 ②看護関連政策の提言 ③「ジェンダー及びハヤヨミ看護政策」の情報提供
		1) 在宅看護の推進	(1) 在宅看護サービスの質向上と人材育成 ①在宅推進委員会とナースセンター事業との連携 ②訪問看護・施設看護職の交流研修への協力 ③訪問看護・施設看護職の交流研修への協力 (2) 訪問看護・介護・居宅支援の質向上 ①県内の訪問看護ステーションの特色や機能の調査
III 看護実践に関する事項	XI 関係機関との連携・協働	1) 渉外活動	(1) 県や市・県病院協会・県医師会、市医師会他との連携強化 ①関係機関の委員及び協議会等への参画 ②後援・協賛依頼への協力 ③看護職員への派遣 (2) コ・メディカル団体との協働連携 ①関係機関の委員及び協議会等への参画 ②後援・協賛依頼への協力

第五号議案 **平成 22 年度一般会計収支予算書 (案)**

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで

△印は前年度予算より減(単位 円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1. 事業活動収入				
1) 特定資産運用収入	30,000	30,000	0	
(1) 特定資産利息収入	30,000	30,000	0	
2) 会費収入	54,000,000	56,000,000	△ 2,000,000	見込会員数 5,400 人 × 10,000 円
(1) 会費収入	54,000,000	56,000,000	△ 2,000,000	
3) 建設資金準備積立金収入	16,200,000	0	16,200,000	
(1) 建設資金準備積立金収入	16,200,000	0	16,200,000	積立金見込収入 5,400 人 × 3,000 円
4) 入会金収入	5,500,000	5,800,000	△ 300,000	
(1) 入会金収入	5,500,000	5,800,000	△ 300,000	新規入会者・再加入者 550 人 × 10,000 円
5) 事業収入	25,442,000	23,481,000	1,961,000	
(1) 受講料等収入	23,472,000	21,569,000	1,903,000	1. 会員研修 26 コース 7,552,000 2. 看護研究会 1,400,000 3. 認定看護師(ファースト) 5,900,000 4. 認定看護師(セカンド) 5,700,000 5. 准看護師研修 240,000 6. 医療・災害研修受講料収入 2,680,000
(2) 会館賃借料収入	410,000	312,000	98,000	
(3) 福祉年金事務費収入	360,000	360,000	0	
(4) 手数料収入	800,000	840,000	△ 40,000	
(5) 衛星通信研修業務受託料	400,000	400,000	0	
6) 補助金等収入	31,958,000	21,510,000	10,448,000	
(1) 日本看護協会助成金収入	7,833,000	7,834,000	△ 1,000	1. 協会運営助成 500,000 2. 看護の日週刊行事助成 100,000 3. 会員教育助成 1,233,000 4. 会員教育専任者雇上助成 3,000,000 5. 訪問看護専任者雇上助成 3,000,000
(2) 日本看護協会業務受託収入	274,000	275,000	△ 1,000	1. 会員登録事務補助受託収入 274,000
(3) 団体助成金収入	100,000	300,000	△ 200,000	1. 県病院協会助成金収入 100,000 2. まちの保健室助成金収入 0
(4) 県ナースセンター委託費収入	8,725,000	9,425,000	△ 700,000	県医療課委託費
(5) 認定看護師(ファースト)研修収入	10,650,000	0	10,650,000	県医療課委託費
(6) 新人看護職員研修委託費収入	700,000	0	700,000	県医療課委託費
(7) 実習指導者講習委託費収入	2,731,000	2,731,000	0	県医療課委託費
(8) 推薦員養成研修委託費収入	900,000	945,000	△ 45,000	県長寿社会推進課委託費
7) 寄付金収入	10,000	10,000	0	
8) 雑収入	1,340,000	1,340,000	0	
(1) 受取利息	10,000	10,000	0	
(2) その他の雑収入	1,330,000	1,330,000	0	1. 資料代 1,200,000 2. その他 130,000
<b>事業活動収入計</b>	<b>134,435,000</b>	<b>108,171,000</b>	<b>26,264,000</b>	
2. 事業活動支出				
1) 事業費支出	64,852,000	55,698,000	9,154,000	
(1) 人件費支出	9,700,000	11,200,000	△ 1,500,000	職員 1 人 アルバイト 2 人
① 給料手当支出	8,400,000	9,900,000	△ 1,500,000	
② 賞金支出	300,000	300,000	0	
③ 福利厚生費支出	1,000,000	1,000,000	0	社会保険料、雇用保険料
(2) 会議費支出	7,910,000	8,160,000	△ 250,000	
① 日本看護協会参加費支出	500,000	300,000	200,000	
② 日本看護協会法人会参加費支出	0	300,000	△ 300,000	
③ 代議員会費支出	100,000	100,000	0	
④ 総会費支出	1,450,000	1,450,000	0	
⑤ 職能集会費支出	500,000	500,000	0	1. 保健師職能集会費 150,000 2. 助産師職能集会費 150,000 3. 看護職職能集会費 200,000

# 職能委員会報告

## 保健師職能委員会

委員長 西岡 倫代

【活動目標】 保健師の専門性を発揮していきいきと活動する

11月9日までインターネットのホームページ上で回答するWeb調査として実施。全国回答率53.1%  
和歌山県医師と連携しながら、保健師のネットワークを活用再三に渡り啓発を図る  
和歌山県の回答率286人/391人(73.1%：全国8位)  
会員：107人、非会員：179人

【活動内容】

○職能委員会（年4回開催）

○職能集会

テーマ：保健師の専門性を発揮するための基盤強化を考える  
「みて きてい つないで つくって みせる」  
～保健師活動のベストプラクティス・伝承とは～  
パネルディスカッション（座長 吉田ひろみ氏）  
(1)地域の母子保健体制づくりを進める中から（湯浅町 金森敏代氏）  
(2)市町村合併後の体制づくりを進める中から（橋本市 坂口淑子氏）  
(3)県保健師として業務担当制の中から（県精神保健福祉センター 尾崎裕美氏）

意見交換

○三職能合同研修会

講演：「看護職確保定着推進について」  
日本看護協会常任理事 小川忍 氏

パネルディスカッション

「看護専門職が専門性が発揮し、やりがいをもって働くために」

○日本看護協会と協働

厚生労働省平成21年度先駆的保健活動交流推進事業

「保健師の活動基盤に関する基礎調査」の実施

目的：保健師の専門性を発揮するための活動基盤に関する現状とそれに伴う活動実態を明らかにする  
7月に全国保健師中央会議（厚生労働省保健指導室）、全国職能委員長会議（日本看護協会）にて説明、8月10日～

○保健師職能勉強会

講義「保健師の基礎教育の可能性と方向性」  
公立大学法人和歌山県立医科大学保健看護学部  
地域看護学教授 山田和子 氏

○保健指導を担う人材育成

現在、和歌山県及び国保連合会で研修を実施している状況であり、今後県健康づくり推進課と協議しながら検討していく。

○三職能委員長情報交換会（適宜）

三職能合同会議、職能間の連携の課題について協議した。

○災害時保健活動体制に関する実態調査

アンケート内容を検討した。

○会員増に関する対策の検討

保健師職能委員会活動を知らせるため保健師職能だよりを作成し、来年度は「保健師の活動基盤に関する基礎調査」等の結果を返していく。

【課題】

○会員増に関する対策の検討

## 助産師職能委員会

委員長 芝 佳子

【活動目標】 助産師の質向上を図り主体的な助産師活動を支援する

テーマ “後輩に伝えたい助産技術”  
講師：正木助産院 正木かよ先生

【活動内容】

○回数 職能委員会 10回 三職能委員長会 3回  
三職能合同集会 1回

○審議事項及び活動内容

1) 小委員会活動

①助産外来・院内助産の普及と質向上の推進  
・助産外来開設施設の現状把握し課題点を探る  
②災害看護（母子）  
・母子手帳と共に携帯できるハンドブックの作成  
③思春期保健指導  
・小学生を対象とした“いのちの教育” 出前教室を計画する  
④まちの保健室への参加  
・乳がん自己検診の推進パンフレットの作成

2) 三職能合同研修会開催

3) 助産師職能集会

日時：平成21年9月5日（土） 10:00～12:00

・助産師職能活動報告

・講演

【今年度の評価及び今後の課題】

○小委員会活動

①日本看護協会版「院内助産ガイドライン」の普及  
院内助産設立のための助産マネジメントの推進  
院内助産開設に向けてのサポート体制を明確にする  
②県の冊子“あかちゃんとおかあさんの健康ガイド”に記載  
③計画書の作成ができた  
内容の検討と出前教室の実施  
年齢に応じた継続的な“いのちの教育”の必要性  
保護者を含めた思春期教育をアピールする

④助産師会やOBの協力を得て4回参加  
出産や更年期症状・子宮癌検診…についてアロマハンドマッサージ実施しながら相談を受けた  
助産師プースのアピールと特に子宮癌検診の受診を推進

○助産師職能集会

学生を含め74名の参加で内容も98%が満足の答え。  
看護協会をアピールするため魅力ある研修を考慮したい。

## 看護師職能委員会

委員長 峰 平 一二美

【活動目標】

1. 安全な看護の提供を目指して、看護専門職としての能力開発を促進する。  
2. 三職能が連携して職能間の課題を協議し、看護職の職場定着にむけた活動を実践する。  
3. 看護協会会員数増を目指して、三職能委員会の組織強化をはかる。

【活動内容】

○回数 委員会 10回

1. 「やさしい倫理だより」6・7・8号を発行し、「黒潮」「ホームページ」に掲載した。

2. 日本看護協会の「暴力対策指針」「看護師が遭遇する暴力等に関する事例集」を合同理事会や施設代表者合同研修会で紹介配布し活用を促進した。

3. 職能集会・三職能合同研修会については以下の通り実施した。  
平成21年9月5日（土）プラザホープ 10:00～16:30

1) 看護師職能集会

研修のねらい：看護職が心の健康を保ち、生き生きと働けるきっかけとなる

(1) 講演：「笑いストレスマネジメント」  
講師：財団新居浜病院副院長 枝宏篤昌先生  
(2) 看護師職能委員会活動報告、職場サポートブックの活用実態調査の報告

2) 三職能合同研修会

(1) 講演：看護専門職の役割と職場定着

講師：日本看護協会常任理事 小川 忍先生

(2) シンポジウム

テーマ：「看護専門職が専門性を発揮し、やりがいを持って働くために」

保健師の立場から 御坊保健所 橋本 容子  
助産師の立場から 橋本市市民病院 宮本 靖代  
看護師の立場から 和歌山労災病院 橋本 真由美  
准看護師の立場から 有田市民病院 宮井 千佳代

まとめ

看護師職能集会は、参加数216名で、アンケート結果から、研修の在り方が良いは83%、看護師職能委員会活動の理解75%、講演の内容が良かったが97%であった。「笑いの効果が実感でき、

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
⑥理事会費支出	630,000	630,000	0	
⑦合同運営会議費支出	300,000	300,000	0	1. 合同運営会議費 150,000 2. 地区別施設代表者会費 150,000
⑧職能委員会費支出	1,300,000	1,300,000	0	1. 保健師職能委員会費 400,000 2. 助産師職能委員会費 400,000 3. 看護師職能委員会費 500,000
⑨常任委員会費支出	1,530,000	1,530,000	0	1. 社会経済福祉委員会費 200,000 2. 教育委員会費 500,000 3. 広報委員会費 200,000 4. 準備委員会費 80,000 5. 推薦委員会費 150,000 6. 業務委員会費 200,000 7. 看護研究学会委員会費 200,000
⑩特別委員会費支出	1,600,000	1,750,000	△150,000	1. 認定看護管理研修委員会費 200,000 2. ファーストレベル教育実行委員会費 200,000 3. セカンドレベル教育実行委員会費 200,000 4. 在宅看護推進委員会費 150,000 5. 准看護師委員会費 200,000 6. 看護部センター建設推進委員会費 150,000 7. まちの保健室運営委員会費 200,000 8. 医療安全対策委員会費 150,000 9. 災害看護対策委員会費 150,000
(3) 需用費支出	3,800,000	3,600,000	200,000	
①旅費交通費支出	800,000	800,000	0	
②通信運搬費支出	1,200,000	1,200,000	0	
③印刷製本費支出	1,000,000	800,000	200,000	印刷機、製本機リース料 他
④調査研究費支出	300,000	300,000	0	アンケート 他
⑤図書整備費支出	500,000	500,000	0	図書整理人件費 他
(4) 会員厚生費支出	411,000	411,000	0	会員慶弔、受章祝 他
(5) 教育費支出	12,960,000	12,500,000	460,000	
①会員研修費支出	4,200,000	4,200,000	0	
②認定看護管理者研修費支出	7,560,000	6,920,000	640,000	ファーストレベル研修費 3,540,000 セカンドレベル研修費 4,020,000
③准看護師研修会費支出	300,000	500,000	△200,000	
④看護研究学会費支出	1,500,000	880,000	620,000	
(6) セカンドキャリア事業運営費支出	0	400,000	△400,000	
(7) 「まちの保健室」運営費支出	600,000	600,000	0	
(8) 広報活動費支出	2,000,000	2,000,000	0	1. 広報費 1,700,000 2. 啓発費 300,000
(9) 組織強化費支出	2,520,000	2,526,000	△6,000	1. 地区支部助成費 1,620,000 2. 新入会員オリエンテーション 300,000 3. 施設代表者会 300,000 4. 職能合同研修費 300,000
(10) 看護支援対策事業費支出	1,362,000	1,290,000	72,000	
①災害看護支援対策費支出	600,000	528,000	72,000	災害時の支援・研修
②医療安全対策費支出	762,000	762,000	0	医療安全対策費
(11) ナースセンター委託事業費支出	8,725,000	9,425,000	△700,000	県医務課委託費 1. 再就業促進事業費 2,013,000 2. ふれあい看護体験費 134,000 3. 訪問看護推進事業費 656,000 4. 中堅看護職員実務研修事業費 594,000 5. 人件費 5,328,000
(12) 実習指導者講習会委託費支出	2,731,000	2,731,000	0	県医務課委託費
(13) 推進員養成研修委託費支出	900,000	945,000	△45,000	県長寿社会推進課委託費
(14) 現在看護職員研修支援等事業費支出	10,650,000	0	10,650,000	県医務課委託費
(15) 新人看護職員研修事業費支出	700,000	0	700,000	県医務課委託費
(16) 寄付金支出	10,000	10,000	0	
2) 管理費支出	57,201,000	61,470,000	△4,269,000	
(1) 人件費支出	33,740,000	34,479,000	△739,000	
①役員報酬支出	10,500,000	13,500,000	△3,000,000	役員2人
②給料手当支出	12,500,000	16,800,000	△4,300,000	職員2人 アルバイト2人
③賞金支出	100,000	100,000	0	
④退職金給付支出	7,640,000	1,079,000	6,561,000	定年退職者1名
⑤福利厚生費支出	3,000,000	3,000,000	0	社会保険料・雇用保険料

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
(2) 需用費支出	17,106,000	20,636,000	△3,530,000	
①会議費支出	300,000	300,000	0	
②渉外費支出	600,000	600,000	0	
③旅費交通費支出	500,000	500,000	0	
④通信運搬費支出	500,000	500,000	0	
⑤賃借料支出	1,756,000	1,756,000	0	システム機器等リース料 他
⑥借上物件賃借料支出	2,400,000	6,430,000	△4,030,000	駐車場借上代
⑦消耗什器備品費支出	1,000,000	1,000,000	0	
⑧消耗品費支出	600,000	600,000	0	事務用品・消耗品 他
⑨印刷製本費支出	1,500,000	1,500,000	0	コピー代・リース料 他
⑩光熱水料費支出	1,750,000	1,750,000	0	電気・ガス・水道
⑪諸謝金支出	1,500,000	1,000,000	500,000	税理士報酬 他
⑫租税公課支出	3,500,000	3,500,000	0	固定資産税・法人税・県・市・民税・消費税 他
⑬災害保険料支出	400,000	400,000	0	建物・備品火災保険料
⑭雑支出	800,000	800,000	0	
(3) 情報処理費支出	2,000,000	2,000,000	0	ホームページ関連費 他
(4) 営繕費支出	2,000,000	2,000,000	0	
①修繕費支出	1,000,000	1,000,000	0	0
②保守料支出	1,000,000	1,000,000	0	0
(5) 会館委託費支出	2,355,000	2,355,000	0	1. 警備委託料 450,000 2. マット取替 90,000 3. 電気工作物点検 150,000 4. 浄化槽維持管理 430,000 5. 自動扉保守点検 85,000 6. 防火設備保守点検 100,000 7. 館内清掃 1,050,000
事業活動支出計	122,780,000	117,178,000	5,602,000	
事業活動収支差額	11,655,000	△9,007,000	20,662,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
1) 特定資金取崩収入	8,632,000	5,079,000	3,553,000	
(1) 退職給付引当資産取崩収入	7,632,000	1,079,000	6,553,000	
(2) 施設整備積立引当資産取崩収入	1,000,000	4,000,000	△3,000,000	
投資活動収入計	8,632,000	5,079,000	3,553,000	
2. 投資活動支出				
1) 特定資産取得支出	37,358,000	20,660,000	16,698,000	
(1) 退職給付引当資産支出	1,688,000	1,079,000	609,000	
(2) 減価償却引当資産支出	3,170,000	2,581,000	589,000	
(3) 施設整備積立引当資産支出	16,300,000	17,000,000	△700,000	
(4) 建設資金準備積立引当資産支出	16,200,000	0	16,200,000	
2) 固定資産取得支出	1,000,000	1,000,000	0	
(1) 什器備品等購入支出	1,000,000	1,000,000	0	
投資活動支出計	38,358,000	21,660,000	16,698,000	
投資活動収支差額	△29,726,000	△16,581,000	△13,145,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	3,000,000	3,000,000	0	
当期収支差額	△21,071,000	△28,588,000	7,517,000	
前期繰越収支差額	41,252,000	41,192,000	60,000	千円未満切捨
次期繰越収支差額	20,181,000	12,604,000	7,577,000	
(注) 1. 借入金限度額 0円 2. 債務負担金 0円				

リラックスできた」というコメントが多かった。  
三職能合同研修は、参加数 158 名、アンケート結果から、研修の在り方が良かったが 66%、テーマについての興味深かったが 61%、パネルディスカッションの構成が良かったは 66%であった。「各職種からの発表に共感し、心うつものがあつた」「もっと時間を取ってほしい」などのコメントがあつた。

#### 4. 認定看護師の連携と協働

看護の質向上において、専門職としての能力開発は重要な課題である。委員会活動として「認定看護師交流会」の開催に向けて支援した。

##### 1) 認定看護師交流会打ち合わせ会議 1回

認定看護師交流会の開催について検討し、交流会の規約及び企画書を作成した。

目的：和歌山県内の認定看護師の連携をとり、和歌山県の看護の質向上に寄与する

内容：日時 平成 22 年 3 月 20 日

場所：和歌山県看護研修センター

対象者：県内の認定看護師

内容：プレゼンテーションとグループワーク

テーマ「各分野の特徴と活動内容について、各分野における県内での役割について」

「認定看護師としての活動の方向性を見出す」

#### 【今後の課題】

医療安全の推進や看護の質向上、新人看護職を含めた人材育成は、看護専門職としての目標である。一方、新卒看護師のリアリティショックや中堅看護師の疲弊が離職につながっている現状がある。看護職が活き活きと働き続けられるために、看護師職能委員会として現状を把握し改善に向けた活動が求められる。また、次年度から義務づけられた「新人看護職員臨床研修」は、和歌山県全体で協働しなければならない。今後も看護の質向上を目指して三職能が連携し、看護専門職の能力開発にむけた取り組みをする必要がある。

## 常任委員会報告

### 社会経済福祉委員会

#### 委員長 小原 喜代子

#### 【活動目標】

- 看護職確保と職場定着の促進に関して、看護師職能委員会と連携をとり、30 歳代看護職の職場状況を把握し、働きやすい職場環境について考える。
- 看護職のたばこに関する意識と禁煙支援リーダー研修終了後の活動状況を把握し、たばこ対策について考える。

#### 【活動内容】

○回数 委員会開催数 8 回

- 看護師職能委員会と連携をとり、離職が多いとされる 30 歳代に焦点を当てて、平成 20 年に行ったアンケートを再検討した。「配偶者がいる 62.2%、「子供がいる」62.2%であり子育ての時期である。「院内保育施設・託児施設がある」53.1 %であり施設の充実、短時間正職員制度の導入が必要である。また、「現在強いストレスがある」67.6%であり、職場では、職位があるのは、17.1%だが、責任を任される立場にあることや、家庭では育児との両立が影響していると考えられる。
- たばこ対策に関して、管理者用・個人用・禁煙支援リーダー修了者用の 3 つの対象にアンケートを実施。
  - 管理者用のアンケート結果（回答者 36 名・回収率 90.0%）
  - 管理者の禁煙意識は高く、時代に伴い施設内・建物内禁煙となっている施設は多い。

しかし、禁煙についての院内研修はほとんどなされていないことがわかった。また、協会で禁煙支援研修が行われた場合は参加させたいという答えが圧倒的に多く、看護協会での研修は必要と考えられる。

- 個人アンケート結果（回答者 369 名・回収率 92.3%）  
対象者のほとんどが喫煙の健康に及ぼす影響に関する認識は高いが「日本看護協会の看護職たばこ対策」を知っている割合は低く、アピール不足ではないかと考える。
- 禁煙支援リーダーアンケート結果（回答者 19 名・回収率 95%）  
禁煙に対する研修に関して、喫煙習慣がニコチン依存症について、具体的な支援方法、効果的な禁煙プログラムについてが必要という意見が多かった。  
研修対象者は限定せずに行うが一番多く、管理職や看護学生を対象とするも少数意見としてあつた。
- 平成 21 年度衛星通信「働き続けられる職場づくり～ワーク・ライフ・バランスの実現」に協力員として参加。

#### 【今後の課題】

- 看護職確保について、ナースセンターとの連携が必要である。
- 看護協会のたばこ対策を知らない人もあり、たばこの害はわかっているが、禁煙活動に結びつかない現状がある。

### 教育委員会

#### 委員長 並木 ルミ子

#### 【活動目標】

会員の看護専門職としての知識、技術を深め、看護実践能力の向上を図るため、会員教育の企画・運営を行うことが出来る。

#### 【活動内容】

○回数 研修 25 コース 35 回 会議 8 回

- 平成 21 年度教育計画の運営
  - 会員研修プログラム受講者の看護実践能力に応じた学習段階」を設定し実施
  - 衛生通信研修を 4 コース実施
  - 日精看と協賛し「高齢者への看護・支援」研修を実施

- 「新人教育担当者研修会」を実施
- 平成 22 年度教育計画立案  
各研修会で得たアンケート結果、会議での評価及び各地区支部からの要望をもとに立案

#### 【今後の課題】

- 受講希望者のキャリアアップにつなげるために、学習意識を尊重した研修場所と研修人数の調整
- 社会情勢や各種ニーズを捉え、日本看護協会と足並みを揃え、より有意義な看護継続教育を実施
- 次年度の教育計画を年内に企画

### 広報委員会

#### 委員長 北原 佳典

#### 【活動目標】

和歌山県看護協会の動向・タイムリーな情報・最新の情報の提供。読者参画型の紙面づくり。

#### 【活動内容】

○回数 8 回

- 和歌山県看護協会会報「黒潮」（第 108 号～111 号）の発行
- 全面にカラーを使用し、読みやすい紙面に改良をした
- 県看護協会の動向を掲載し、各職能委員会からのコーナー、看護協会委員会のコーナー、看護研修センター建設推進委員会のコー

- ナーを継続した。
- 「My Hospital」「リレーエッセイ 友達の輪」「私の○○」など読者参画型の紙面作りに努めた。
- 認定看護師による最新の情報を会員の皆様に提供した。またインドネシアから和歌山県の医療施設で働く看護師の紹介をした。

#### 【今後の課題】

- 会員の皆様に、より興味を持っていただける紙面作り
- 委員会からの依頼から、ご協力を頂くだけでなく、もっと自由に会員の皆様に投稿、ご意見を賜り、紙面に反映させていきたい

### 準備委員会

#### 委員長 角 敬子

#### 【活動目標】

円滑な総会運営に向けて準備・調整

#### 【活動内容】

○回数 3 回

- 平成 21 年度和歌山県看護協会総会は、平成 21 年 6 月 6 日に開催、無事に総会を終了。
- ① 21 年度総会の反省点の検討

② 準備委員による役割分担の検討

③ 事務局との役割の再確認（明確化）

④ 会場内における誘導案内の人員配置、再検討

⑤ 受付業務の明確化および再検討

⑥ 22 年度総会の役割分担の決定

#### 【今後の課題】

22 年度総会に向けて、理事・常任委員・特別委員・各委員との協力。

### 推薦委員会

#### 委員長 座間 晶子

#### 【活動目標】

活力ある組織体制作りを目指して、開かれた推薦を行う。

#### 【活動内容】

委員会開催 4 回

○平成 22 年度改選役員、委員、平成 23 年度代議員を下記のとおりに推薦いたしました。

- 会長 木村 佐多子
- 第二副会長 土井 美智代
- 専務理事 黒田 美也子
- 常任理事 葛葉 まさ系
- 理事（保健師）高垣 通代
- 地区理事（伊都）山本 紀美代
- 地区理事（那賀）並松 睦世
- 地区理事（有田）後藤 知子
- 地区理事（日高）酒本 一二美
- 地区理事（田辺）高田 雅美
- 全区理事 宮井 千佳代

・監事 伊藤 浜代

・監事 羽原 伊久雄

・保健師職能委員 橋本 照代

橋本 古谷

日裏 明美

和所 直美

木村 奈緒美

杭ノ瀬 結子

・看護師職能委員 道端 由美

岡本 真弓

千畑 仁美

松原 努

・推薦委員 小川 政予（保健師）

慈幸 奈美（助産師）

芝 瀧 ひろみ（看護師）

○平成 23 年度代議員推薦者

・保健師職能 高垣 通代

・助産師職能 土井 美智代

・全区理事（准看護師）宮井 千佳代

・伊都地区（看護師）京極 紀子

・和歌山地区（看護師）植岡 康恵子

・田辺地区（看護師）中村 優子

○予備代議員推薦者

・保健師職能 橋本 照代

・助産師職能 杭の瀬 結子

・看護師職能（准看護師）道端 由美

・伊都地区（看護師）岩崎 留美

・和歌山地区（看護師）池本 義子

・田辺地区（看護師）東 直子

#### 【今後の課題】

理事会が行う役員の推薦と、推薦委員会が行う推薦について密接に連携をとりながら進める。

#### ◆◆平成 23 年度日本看護協会総会代議員及び予備代議員の選出について◆◆

日本看護協会は公益社団法人認定に向けて、平成 21 年 5 月の通常総会において「日本看護協会の基本理念について」「新たな社団法人の骨子について」を提案し承認され、代議員及び予備代議員選出については、次のようになりました。

「新たな社団法人の骨子について」より抜粋

「総会（代議員会）」の新たな機能に応じた代議員制度に転換し、代議員会の規模を適正化する。代議員総数は 750 人とする。会員数が多いため、従来どおり、一般社団・財団法人法上の「社員」及び「社員総会」に相当する「代議員」及び「総会（代議員会）」制を採用する。これまで総会で議決してきた予算や事業計画は、今回の改革で基本的に「理事会」の議決事項となった。「総会（代議員会）」の役割は、定款改正、理事・監事の選任及び解任、計算書類・事業報告の承認など基本的事項の議決に絞られた。具体的な代議員数については次のように考える。

まず、全ての都道府県看護協会において、それぞれ、看護師 2 人、保健師・助産師・准看護師各 1 人の合計 5 人の代議員は最低選出するものとする。残りの代議員の職種は問わない。

現在、会員が一番少ない県協会は約 4,000 人であり、この県協会の代議員数は最少の 5 人となるので、代議員 1 人当たり会員数は 800 人の計算となる。この割合で代議員数を選出すると、現在の総会員数約 60 万人に対して 750 人の代議員を選出することになる（60 万人 ÷ 800 = 750 人）。そこで、新法人では、総代議員数を 750 人とする。各都道府県看護協会の代議員数は、この 750 人を当該総会の 2 年前の年度末会員数に応じて比例配分する。ただし、小規模の県看護協会であっても、最低 5 人の代議員が保障されるように調整する。

以上のことから、和歌山県は、代議員選出の基準となる、前々年度（平成 20 年）の 12 月末日現在の会員 5,485 人で算出すると選出すべき代議員は 6 名、予備代議員 6 名となり、その内訳は看護師 3 名、保健師、助産師、准看護師から各 1 名となります。

### 業務委員会

#### 委員長 福田 亜紀子

#### 【活動目標】

- 業務拡大に伴う看護現場の状況把握に関すること
- 看護業務基準・指針などの普及と活用状況の把握に関すること

#### 【活動内容】

7 月 1 日の理事、常任委員、特別委員長合同会議で諮問された。看護業務基準・指針などの普及と活動状況の把握に関することへの取り組みとして H20 年度に施行した感染管理に関するアンケート結果を踏まえて、研修会の開催を予定していたが、すでに教育委員会から同様の研修が計画されていたため、業務委員会としては、教育委員会へ参考資料として、アンケート結果を提供した。看護業務拡大に伴う看護現場の状況把握に関することへの取り組みとして、がん化学療法の管理に関する実態を調査した。

和歌山県看護協会に所属している医療機関 60 施設を対象にアンケート調査を行なった。アンケート結果から、抗がん剤取り扱いに対して認定看護師所属の有無、マニュアルの有無などから認識の差があることが把握でき、教育や人材確保、手順の見直し等に苦慮していて、人材育成とマニュアル作成の必要性があることが分かった。

今後、人材育成については、教育委員会と連携し、知識の普及に努めることが喫緊の課題であると考えられる。

#### 【今後の課題】

今回のアンケート結果を各施設において抗がん剤（注射）治療に関するマニュアル作成等の指標にできるようにフィードバックする。

## 看護研究学会委員会

委員長 尾崎 りえ

【活動目標】  
和歌山県看護研究学会が活発で円滑に実施運営できる。

【活動内容】  
○開催回数 11  
平成21年度和歌山県看護研究学会にむけ木村看護協会会長・土井教育部長と委員6名の構成で、学会企画及び準備、運営を目的に、平成21年5月から平成22年3月10日まで、計11回の委員会を開催した。  
1) 審議内容  
① 学会の目標・テーマの検討  
② 特別講演の講師選定  
③ ポスターの作成  
④ 抄録応募方法及び参加募集方法の検討  
⑤ 査読依頼及び選考判定用紙の検討  
⑥ 抄録の選考とプログラム作成・座長の選出  
⑦ 学会協力員の依頼と役割内容  
⑧ 学会当日の運営の検討と運営のしおり作成

⑨ 学会会場の設営準備  
2) 学会報告  
平成22年2月27日(土)に「輝く笑顔でよりそう看護ー今こそ看護の原点にー」のテーマで和歌山県民文化会館小ホールにて和歌山県看護研究学会を開催した。参加者は365名。一般演題は、27題(口演16題・示説11題)の発表があった。また、「ナース主義!看護師だからできる生き方・考え方」をテーマに宮子あずさ先生による講演が行われた。学会終了後のアンケートでは、宮子あずさ先生の講演を聞き「自分の気持ちも楽になった」「これから自分のできることをコツコツやっというところだ」「勇気づけられた」等の意見があり、参加者が「看護」を今一度振り返られる機会になったと思われる。

【今後の課題】  
年々、応募演題数が減少してきている。来年度は応募演題数・参加者数の増加にむけた広報活動を強化し、さらに充実した看護研究学会にしていきたい。

## 准看護師委員会

委員長 宮井 千佳代

【活動目標】  
准看護師としての資質の向上を目指し、研修を開催する。看護師2年課程通信制の進学に向けての支援を行う。

【活動内容】  
○回数 研修4回 委員会5回  
①准看護師研修として「医療事故防止」「感染防止」を実施。進学支援に向けて、交流会を含め研修を3回実施。  
②昨年作成したアンケートを見直し、各研修会で得た結果を集計、反省、評価を行った。

## 看護研修センター建設推進委員会

委員長 中林 正良

【活動目標】  
看護協会の果たすべき役割やその機能から、今後の将来展望にたった看護研修センター建設推進のため、用地の取得、研修センターの構造、規模及び資金計画が適正に行えるための具体的検討を行う。

【活動内容】  
前年度通常総会の決定を受け、4回の委員会を開催した。今一度、原点に戻り幅広く選択肢を広げ検討してきた。現時点では、以下の3点に集約される。  
一つ目は、トランスコスモス総合テクノロジー(トランスコスモス)を借用しながら、賛意を聞くため各研修毎に受講生にアンケートをお願いしてきた。これは引き続き継続していく。  
二つ目は、新しい物件取得について、和歌山市内2ヶ所の下見調査を行った。しかし、会員の伸び悩んでいること、現在の経済情勢等

から、更地を購入し新築することは予算的に困難であると判断した。三つ目は、現地(西浜)の再開である。昨年春ごろ、不動産仲介業者から、西側の隣接地(梅畑)と近くのミカン畑を購入(借用)の打診があった。土地を取得し、駐車場を確保するためにセンターを高層化する可能性を探ったが、立地条件から不可能と判断した。しかし、現在は、駐車場を分散する方法で検討をしている。委員会の報告については、黒潮や協会ホームページで早く情報をお知らせできるように取り組んできた。

【今後の課題】  
無難な資金調達を考えれば、現実的な取得を最優先させなければならぬ。より具体的な比較ができるように作業を進めていきたい。また、別の選択肢も視野にいれることも検討しなければいけない可能性もある。

## 特別委員会報告

### 認定看護管理者制度ファーストレベル教育実行委員会

委員長 上田 稚代子

【活動目標】  
本研修は、個々の看護職員的能力を生かしながら、適切かつ効果的に看護サービスを提供するようマネジメントし、リーダーシップを発揮できるように看護管理者の基盤となる能力を身につけることをねらいとしている。さらにファーストレベル研修修了者を対象にしたフォローアップ研修では、看護管理の基礎的知識を再度学習することで、現在の自己の役割を再認識できることをねらいとしている。実行委員会では、教育課程に基づく各教科目の研修を円滑に開催できるように研修内容の企画・運営案や講師の選定などの案を検討し、上記の研修のねらいを達成できることを活動目標において、認定看護管理者制度教育運営委員会に提案している。

2.平成21年度認定看護管理者ファーストレベル修了者へのフォローアップ研修の実施・評価について  
・今年度は看護専門職論の一部の講義をフォローアップ研修とし、2日間の日程で1科目、1名の講師により実施した。研修の評価は、受講生13名を対象に講義終了後にアンケート調査を実施した。その結果、11名(回収率85%)の回答があり、看護サービスのあり方や看護倫理の重要性を再認識することが出来たという学びが多く、また臨床での日々の仕事の中で看護管理の目的・目標や専門職としての自覚・役割などを再認識することができ、今後も継続的に学習していきたいという希望が多くあった。これを受けて来年度も継続して実施することを提案した。

【活動内容】  
○回数：運営委員会を5回開催した。  
1.平成21年度認定看護管理者(ファーストレベル)教育課程の実施・評価について  
・認定看護管理者(ファーストレベル)の教育目的を達成するために、開校式を含め22日間の日程で6科目13名の講師により実施した。  
・研修の評価は、受講生46名を対象に講義終了後にアンケート調査を実施した。その結果、各科目において「講義内容の理解」「今後の実践での活用」「モチベーション」とも5段階評価において平均3〜5点と平成20年度同様に高い評価を得ることができた。このことは、研修内容の企画や講師の選定が研修目的に沿った結果と考える。

【今後の課題】  
1)前年度に引き続き、各教科の担当講師の都合により、教育課程の進行状況が前後する場合があります。受講生の学習レディネスが不十分となり講義内容の理解不足が生じることが懸念されるため、各担当講師との日程調整において概論や基礎的な教科を優先させられるようにしていくこと。  
2)各教科の学習内容を明確にさせるためにシラバスの作成を行い、研修生や教科担当講師に配布し、各教科の学習内容の連携を図っていくこと。  
3)論理的思考に基づく文章表現が出来ることを目標としたカリキュラムの編成を検討していくこと。

### 「まちの保健室」運営委員会

委員長 橋本 美幸

【活動目標】  
1.「まちの保健室」の定着化と共に、地域住民の健康に対する認識を高める。  
2.生活習慣の改善のきっかけづくりと、その改善に向けてのサポートができる。  
3.県民の健康レベルのニーズに応じたコンサルテーション機能が発揮できる。  
4.他の職能委員と連携した活動ができる。

PRに努めた。  
参加人数は各回60〜80名程度で、年齢は10代〜70代で幅広く利用されている。  
割合としては、男性よりも女性の利用者(約2〜3倍)が多かった。「まちの保健室」の開催については、広報紙などをみてというリピーターもいたが、たまたま通りがかったという利用者が半数以上しめていた。  
アンケート回収率については80%以上あった。  
利用者からは、健康に対する関心が高まった、気がかりなことが相談できたなどの声が聞かれた。

【活動内容】  
○回数 11回 「まちの保健室」開催 5回  
昨年度に引き続き、「まちの保健室」の定着化を図ること、また幅広い年齢層の方を対象とできる「メッサオークワ ガーデンパーク和歌山」で奇数月の第3土曜日に定例開催した。  
内容も前年度と同様、各計測(身長・体重・血圧・脂質・骨密度測定)、保健師、栄養士による健康相談を実施した。  
また助産師職能からは「妊産褥婦の保健指導」や「更年期相談」「ハンドマッサージ」も行われた。  
広報については、地方紙の「ニュース和歌山」や「リビング和歌山」への無料掲載と開催場所へのポスター掲示を行い看護協会の活動の

【今後の課題】  
今年度の活動を引き続き行なうことで、看護協会活動のPRに努めると共に、地域住民の健康意識を高めること。また生活習慣の改善のきっかけづくりとその改善に向けてのサポートができるよう努めていく。  
地域住民の生活習慣病予防のサポート体制の強化にあたり、今年度同様、セカンドキャリア・助産師職能・保健師職能・ボランティア等の協力、連携が必要と考える。

## 在宅看護推進委員会

委員長 宮川 啓子

【活動目標】  
1.訪問看護推進協議会開催に向けて準備する  
2.訪問看護推進に関する方法の検討  
3.地域の看護職・医療機関看護職の連携に関する推進方法の検討

て展開できる予定である。  
・平成21年8月5日開催の「訪問看護管理者研修」において、委員長が講師を担当し、訪問看護師への教育活動ができた。  
3.地域の看護職・医療機関看護職の連携に関する推進方法の検討  
・平成22年2月9日開催の「医療機関・訪問看護ステーションに勤務する看護職の相互研修」プログラムの企画運営を行った。講師に訪問看護ステーション管理者を向かえ、「看護の役割の再認識」、「患者・利用者をつくる視点の変化」を目的に講演を実施、グループ討議をすることで、その内容に関し理解を深めることができ、地域と病院の看護師が交流することができた。

【活動内容】  
○回数 7回  
1.訪問看護推進協議会開催に向けて準備する  
・第2回訪問看護推進協議会(平成22年3月4日)開催に際し、協議会の内容の検討、プログラム編成について企画運営を行った。昨年同様に、訪問看護との連携が重要である病院、居宅、薬剤師等の代表の方に出席を依頼した。今年度は、居宅介護支援専門員の代表者に訪問看護との連携について講演を依頼した。  
2.訪問看護推進に関する方法の検討  
・訪問看護ステーションの広報、情報提供目的に、病院看護師、潜在看護師問わず、実習受け入れができるような事業を計画。ナースセンターでその運営を任せることができ、次年度より事業とし

【今後の課題】  
・退院支援が推進されてきており、在宅へ患者が退院することが、訪問看護が推進することであり、また、訪問看護師と医療機関看護師との連携の多くの場面であることから、「退院支援」に関する勉強会を開催することが次年度の課題としたい。

## セカンドキャリア事業運営委員会

委員長 田村 キク代

【活動目標】  
セカンドライフを豊かに過ごすために  
定年退職後や定年退職を控えたベテランナース達が、看護の現場で培ってきた豊かな経験や広い知識を活かした活動の継続について考えと共にお互いの交流の場とする。

参加者募集に苦労するが、その研修が実際に活かされていない現状であるため、今年度は実施しなかった。  
④毎日新聞社主催「毎日ウィークイン和歌山」の協力環境・健康をテーマに、地元と連携した市民参加のイベントで「健康」に関するテーマで協力した。  
日時：平成21年9月27日(日)  
場所：和歌山城 砂の丸広場 参加者：196名  
セカンドキャリアメンバー6名、まちの保健室メンバー、保健師、栄養士の協力により、健康相談に応じた。

【活動内容】  
○回数 委員会2回  
①現在、登録者は25名で、その登録者を中心に活動を展開した。定期的に開催される「まちの保健室」(年5回)には昨年同様、前もって予定を通知し、それに基づいて毎回4〜5名の協力員を出すことができた。  
②災害発生時の協力について  
先ず、所定の研修を受ける必要があるということで、保留となる。  
③研修会開催について

【今後の課題】  
まちの保健室協力は軌道にのったが、研修会は活かされ難い為、委員会としての、活動は難しい。今後はナースバンクに登録して必要時協力したい。

## 医療安全推進対策委員会

委員長 山口 太津子

### 【活動目標】

1. 医療安全管理者養成研修会の開催
2. 県内医療安全管理者養成研修会修了者の支援およびフォローアップ研修の開催
3. 近畿地区リスクマネジャー交流会への協力
4. 医療安全に関する情報の発信

### 【活動内容】

1. 委員会開催回数 8回
  - 1) 検討内容
    - ・医療安全管理者養成研修会、県内リスクマネジャー交流会・フォローアップ研修会の運営、および研修後の評価について検討をおこなった。
    - ・近畿地区リスクマネジャー交流会の事前・事後の検討をおこなった。
  - 2) 医療安全管理者養成研修会（全6回修了した方に修了証を発行）医療現場における安全管理を効果的に行い、医療の質を保証することができる医療安全管理者を養成するねらいで今年度は6日間（実質36時間）の研修会を開催した。受講者59名（修了者58名）であった。研修後のアンケート結果からは、どの研修日も目標はほぼ達成できた、という回答を得ている。
2. 県内医療安全管理者養成研修会修了者の支援およびフォローアップ研修については、午前に交流会、午後には演習を含めた研修会と

して開催した。参加者は34名で、交流会では、他施設の現状や取り組みをしることができよかった、という声が多く聞かれた。午後は、RCA分析の演習を含めた研修会であった。1日のほとんどがグループワークであったが、受講生からは楽しく勉強できよかったと好評であった。

3. 近畿地区リスクマネジャー交流会への協力
  - 今年度は京都府看護協会が担当県として、12月12日に、午前中は近畿6府県看護協会の医療安全にかかわる委員会委員の交流会、午後は公開講座がおこなわれた。次年度は和歌山県が担当県となる。
4. 医療安全管理者（リスクマネジャー）としての活動報告をリレー形式で「黒潮」に掲載予定である。

### 【今後の課題】

1. 医療安全推進対策委員会は、特別委員会として2年目となり、医療安全管理者養成研修会や県内リスクマネジャー交流会・フォローアップ研修会の計画と運営、近畿地区リスクマネジャー交流会への協力（次年度は和歌山が担当県の予定）は、今後も大きな取り組みである。
  - その中で、医療安全管理者養成研修会の参加者数の確保、また、参加者のスキルアップをはかるために県内リスクマネジャー交流会・フォローアップ研修会をどうすすめていくかが今後の課題となっている。

## 災害看護対策委員会

委員長 加納 昭美

### 【活動目標】

1. 和歌山県看護協会での災害看護における研修を企画・実施する。
2. マニュアルの作成・災害支援ナースネットワークシステムを構築する。

### 【活動内容】

1. 委員会開催 4回
    - 災害時支援体制実施要綱、災害支援ナースマニュアルの作成を行う。
    - 災害看護研修内容を講師と共に検討する。
  2. 災害看護の研修の開催
    - 災害看護Ⅰ：平成21年8月25日（火）・26日（水）
    - 災害看護Ⅱ：平成21年9月15日（火）・16日（水）
- アンケート結果  
災害看護Ⅰ
- 1) 学習課題の達成度
    - ①達成できた 11% ②ほぼ達成できた 65%
    - ③一部達成できた 19% ④あまりできなかった 5%
  - 2) 理解の程度
    - ①理解できた 67% ②普通 31% ③理解できなかった 2%

### 災害看護Ⅱ

- 1) 学習課題の達成度
    - ①達成できた 27% ②ほぼ達成できた 70%
    - ③あまりできなかった 3%
  - 2) 理解の程度
    - ①理解できた 72% ②普通 28% ③理解できなかった 0%
- アンケート結果（意見）から
- ・研修内容（目的）を理解できていない人がいる。
  - ・シミュレーションの時間が少なかった。
  - ・今後、フォローアップ研修について検討する。
  - ・災害支援ナース育成の研修以外に、災害初期研修をどのように取り入れていくか検討が必要である。
3. 日本看護協会合同災害訓練に参加する  
平成21年8月26日（水）27日（木）28日（金）

### 【今後の課題】

1. 災害看護研修内容の再検討
2. 災害マニュアルの普及
3. 災害支援ナースの登録促進

## 認定看護管理者制度セカンドレベル教育実行委員会

委員長 小泉 美穂

### 【活動目標】

1. 認定看護管理者制度セカンドレベル教育機関として申請できる体制作りとセカンドレベル教育課程を実施する

### 【活動内容】

- 回数：12回
1. 研修開講まで
    - ・昨年3月にセカンド教育機関として申請していたところ、7月に認定された。
    - ・研修開始に向け、プログラムの最終調整、公開講座の決定、科目演習と看護管理実践計画書支援者への依頼、オリエンテーション内容の検討
  2. 研修開講中
    - ・研修に集中できるよう受講生への支援
  3. 研修終了後

・受講生から提出された教科目レポートと看護管理実践計画書の審査の結果、25名全員が合格された。

・受講生へのアンケート結果をみると、各講師の講義内容に関しては5段階評価でほとんどが4の評価だった。また、最終のアンケート調査でも、「素晴らしい講師の講義を受けることができ感謝している。」「受講後、自らの課題が明らかになった」などの意見があった。

また、研修の受講期間について確認したところ、分散型、前半・後半型、集中型のどの項目もほぼ同数であった。

・今年度の評価と次年度の計画

・委員が、研修日の担当と教科目演習の支援者だったため、委員の負担が大きかった。

### 【今後の課題】

1. 受講生30名の確保

## 地区支部報告

### 伊都地区支部

支部長 岩崎 留美

### 活動目標

1. 地区支部活動を充実する
2. 社会のニーズに応じた質の高い看護を提供する
3. 会員の組織強化を図る
4. 関係機関や関係職種との連携をはかる

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護週間行事「1日まちの保健室」	平成21年5月16日（土）JA やっちゃん広場	422名	一般	血圧測定 骨密度測定 健康相談 栄養相談 心肺蘇生法及びAEDの使用について	・骨密度測定は好評であり、毎年実施している。また栄養士による栄養相談を実施した。 ・啓発の必要性からAED指導を橋本市消防署の協力により実施した。
伊都地区支部通常総会及び研修	平成21年7月4日（土）九度山町ふるさとセンター	49名	会員	・平成20年度事業報告、決算報告 ・平成21年度事業計画案、予算案 研修会「病院における感染管理」 ICNの役割・現場での感染対策 講師 橋本市市民病院 感染管理認定看護師 神保昌世 先生	
老人看護月間講演会	平成21年10月10日（土）九度山町ふるさとセンター	56名	会員	・講演「無理しないおもしろがる スポラ介護の極意」 ・講師 講師 田辺 鶴瑛 先生	
伊都地区支部看護連盟紀北支部合同研修会	平成22年1月23日（土）紀和病院	42名	会員	・講演「看護職がいきいきと働き続けられるために」 ・講師 和歌山県看護連盟会長 谷 眞子 先生	
伊都地区支部看護研修会	平成22年3月6日（土）紀和病院	66名	会員	・講演「認知症ケア ～生活をともに過ごして～」 ・講師 小規模多機能型居宅介護施設「森のこかげ」管理者 石田 千香子 先生	
伊都地区施設会員代表者会議	平成22年3月23日（火）紀和病院	15名	施設会員代表者 役員	・平成21年度和歌山県看護協会事業経過報告について ・平成22年度和歌山県看護協会事業に向けて	
支部役員会	毎月1回開催（12回）紀和病院	5名	役員	・各事業についての打合せ	
今後の課題	・関係機関、関係職種との連携をはかることが必要である。				

### 那賀地区支部

支部長 丸山 昌子

### 活動目標

1. 会員数増加に向けて魅力ある研修の開催と活気ある活動を行う

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
第2回地区施設会員代表者会議	平成21年3月18日（水）15:00～16:30 富田病院	15名	地区施設会員代表者	1. 新看護研修センターの土地取得と建設計画について 2. 平成20年度和歌山県看護協会事業経過報告について 3. 平成21年度和歌山県看護協会事業計画について 4. 新 公益法人について	・新看護研修センターの預託金の負担が大きくなり会員数の減少が心配である。 ・研修の参加機会が少なく、非会員の参加が出来れば、今後加入しやすくなるのでは、 ・全体的にどの施設でも新看護研修センターが必要であるが、預託金が負担になっている。
支部役員会	同上	3名	地区支部役員	・「1日まちの保健室」実施について	
支部役員会	平成21年4月22日（水）訪問看護ステーションとみた	3名	地区支部役員	・「1日まちの保健室」実施について	
1日まちの保健室	平成21年5月16日（土）ミレニアシティ岩出店1階東棟車庫	協力員23名 参加者118名	地区支部会員 一般市民	1. ポスター掲示、呼び込み、チラシ配布 2. 各測定（血圧、身長、体重、体脂肪、骨密度） 3. 測定結果の説明、保健相談、保健指導	・新型インフルエンザの影響が心配されたが大勢の方に参加していただくことができた。感染予防のため手指の消毒が必要との反省があった。 ・健康に関心を持って、今後も続けて欲しいとの声が多かった。
支部役員会	同上	4名	地区支部役員	反省会	
地区支部総会	平成21年6月27日（土）岩出市総合保健福祉センター	50名	地区支部会員	1. 平成21年度地区支部総会	・活動報告及びその他 ・安川先生がギターを弾き語りながら、在宅医療の素晴らしさや難しさを学ぶことができ、とても感動的だったと好評であった。
地区支部研修会	同上	72名	地区支部会員 非会員	2. 地区支部研修会 講師 安川診療所 安川修先生 テーマ「在宅での看取りについて」	
支部役員会	同上	3名	地区支部役員	看護を語る会 ゲスト たかがい恵美子さんを迎えて意見交換	・たかがい恵美子さんのバイタリティー溢れる姿勢に刺激され、活発な意見交換があった。
看護連盟紀北支部・看護協会那賀地区支部合同研修会	平成21年10月10日（土）岩出市総合保健福祉センター	42名	地区支部会員（連盟・協会）	地区支部研修 講師 安川診療所 安川修先生 テーマ「認知症を知ろう」	・先生ご自身の体験談（失敗談も）を交えて、認知症を解り易く講義して頂き、「認知症に対する偏見や誤解をなくして欲しい」との先生の熱い願いが、参加者によく伝わった講演であった。
老人看護月間行事地区支部研修会	平成21年10月31日（土）岩出市総合保健福祉センター	52名	地区支部会員 非会員	地区支部研修 講師 安川診療所 安川修先生 テーマ「認知症を知ろう」	
支部役員会	同上	3名	地区支部役員	研修会反省	
支部役員会	平成22年1月19日（火）訪問看護ステーションとみた	3名	地区支部役員	地区支部総会研修会企画について	
地区施設代表者会議	平成22年3月12日（金）有料老人ホームインセルパーク多目的室	16名	地区施設会員代表者	1. 平成21年度協会事業経過報告 2. 日本看護協会の動向 3. 平成22年度和歌山県看護協会事業等について	
支部役員会	同上	3名	地区支部役員	「1日まちの保健室」実施について	
今後の課題	・会員数の減少を最低限に止める ・看護協会の活動の普及と会員の意識の向上が必要				

和歌山地区支部

支部長 澤田 康幸

活動目標

- ・保健師、助産師、看護職および一般市民の方に看護協会についての認知を広める。
- ・看護協会員に対し、情報を発信する。

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
地区支部役員会	平成21年4月22日 済生会和歌山病院	8名	役員	通常総会、研修会、1日まちの保健室について検討	
1日まちの保健室	平成21年5月16日 わかちか広場	82名 12名	一般参加 役員・協力員	身長・体重・体脂肪・血圧・骨密度の測定を行い、その結果と説明を行う。	
地区支部役員会	平成21年5月27日 済生会和歌山病院	6名	役員	通常総会・研修会について「まちの保健室」の反省	
地区支部役員会	平成21年6月24日 済生会和歌山病院	8名	役員	通常総会の準備および打合せ 研修会の準備、会計監査	
通常総会 第1回研修会	平成21年7月4日 ダイロイネットホテル (4階 プリエ)	223名 10名	会員 役員	通常総会 研修会：「最新のスキンケア」 講師：皮膚・排泄ケア認定看護師の木村智葉先生	実際、日ごろ行っているスライドを見せて頂きながら、楽しく学ぶことができ、看護の実践に結びつく内容でした。参加者の方からも好評を得ることができました。
地区支部役員会	平成21年7月23日	6名	役員	通常総会の反省・老人看護月間行事について看護協会への要望・ナース卓のとりまとめ	
地区支部役員会	平成21年8月27日	6名	役員	老人看護月間行事について	
老人看護月間	平成21年9月12日 「わかちか広場」	80名 6名 6名	一般参加 役員 協力員	身長・体重・体脂肪・血圧・骨密度の測定を行い、その結果と説明を行う。	中学生から80歳台の方や、前回もチェックして頂いたと言う方まで健康チェックを受けていただきました。参加者の言葉からも、健康に対する意識が高いと感じられました。
地区支部役員会	平成21年9月29日	6名	役員	老人看護月間の反省会 研修会について	
地区支部役員会	平成21年10月23日	6名	役員	研修会の最終打ち合わせ	
第2回研修会	平成21年10月31日 ダイロイネットホテル (4階 プリエ)	149名 6名	会員 役員	研修会：「これからの感染対策-インフルエンザ・ノロウイルス対策-」 講師：感染管理認定看護師の小島光恵先生	講演は楽しみながら学ぶことができ、かつ、実践に結びつく内容であり、好評を得た。
地区支部役員会	平成21年11月26日	6名	役員	第2回研修会の評価 次年度の事業計画	
地区支部役員会	平成22年1月28日	7名	役員	次年度の事業計画・中間会計監査 新役員への依頼	
地区支部役員会	平成22年2月16日	6名	役員	連盟との合同研修内容検討	
看護連盟・協会 合同研修会	平成22年2月20日 和歌山市民会館 小ホール	5名	会員 役員	研修会 たかがい恵美子さんの「命(いのち)との出会いから」 講師：さかもと未明先生	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区支部の強化発展のために、会員の増加に努めなければならない。</li> <li>・施設および個人会員への情報伝達をスムーズに行う工夫が必要である。</li> <li>・会員ひとりひとりが協会の活動に興味をもって、積極的に関わっていただけるよう事業を行っていく必要がある。</li> </ul>				

海南・海草地区支部

支部長 楠本 好子

活動目標

1. 地区支部会員の資質の向上と交流を図る
2. 看護協会についての認知度を高める

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
支部役員会	平成21年4月22日(水) 海南保健所	9名	役員	・平成21年度総会及び研修会開催について ・一日まちの保健室について	
一日まちの保健室	平成21年5月16日(土) とれたて広場	128名	一般	・健康相談(生活習慣病) ・骨密度、血圧、体脂肪測定	好評でたくさんの方に骨密度や健康相談をさせていただきました。
支部役員会	平成21年6月10日(水) 海南保健所	10名	役員	・平成21年役員について ・総会並びに研修会について ・一日まちの保健室の反省	
総会	平成21年7月4日(土) 海南市保健福祉センター	110名	会員	・平成20年度事業報告・決算報告 ・平成21年度事業計画案・予算案	
研修会	平成21年7月4日(土) 海南市保健福祉センター	110名	会員	「災害看護について」 日本赤十字社和歌山医療センター 看護師・国際医療救急部 高岸壽美先生	災害サイクルに応じた看護活動や災害時の心のケアの必要性と活動の実践を教えてくださいました。大変勉強になりました。
支部役員会	平成21年8月12日(水) 国保野上厚生総合病院	10名	役員	・和歌山県看護協会事業に対する提案・要望事項について ・海南健康祭りについて ・平成21年度事業計画について ・総会・第1回研修会反省	
支部役員会	平成21年9月16日(水) 国保野上厚生総合病院	8名	役員	・海南健康まつりについて ・第2回研修会について	
海南市健康まつり	平成21年10月25日(日) 海南市保健福祉センター	284名	一般	脳の老化度チェック 豆つまみ、かなひろいテスト	健康まつりでの「脳の老化度チェック」は地域にしっかり根ざしてきています。大変好評でした。
支部役員会	平成21年12月2日(水) 国保野上厚生総合病院	10名	役員	・海南健康まつり反省 ・第2回研修会について	
第2回研修会	平成22年1月23日(土) 国保野上厚生総合病院 付属看護専門学校	114名	会員	「口から食べるためのアプローチ」 済生会有田病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 田中智子先生	分かりやすく、具体的な内容であり、明日からのケアで早速実施するという声も多く、大変好評でした。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>「一日まちの保健室」「老人看護月間行事の健康まつりへの参加は、看護協会を地域の方々にPRできるよい機会になった。</li> <li>未加入の看護職員にも協会活動を理解していただけるよう広報活動し、会員数の増加をはかる。</li> </ul>				

有田地区支部

支部長 中島 和美

活動目標

1. 看護協会の活動を通して、地域住民へ看護の力をアピールする。
2. 広報活動等により新会員を増やすよう動きかける。

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
1日まちの保健室	H21年5月16日 9:30 ~ 13:00 オークワ箕島店	17名 127名	役員及び 協力員 住民	*健康診査(メタボリックシンドロームを中心に)血圧測定・体重測定・体脂肪測定・腹囲測定・標準体重と肥満度 *健康相談 *子供の記念写真(看護師の格好で) *記念品の配布	*健康相談で、保健師より脂肪や甘味料などの模型を使った指導を受け大きさや重さにびっくりされていた。
第1回役員会	同日・同所にて 13:00 ~ 13:30	8名	役員	*21年度地区支部総会について *21年度支部役員について *第1回研修会について	*研修会の講師は、済生会有田病院の摂食嚥下障害看護認定看護師：田中智子氏に決定する。
平成21年度 有田地区支部総会	H21年6月27日 13:30 ~ 14:00 有田市民会館	85名	会員	1、20年度事業報告・決算報告 2、21年度事業計画案・予算案 3、21年度通常総会代議員報告 4、21年度役員変更について	地区支部の1年間の活動報告と共に新年度の事業計画について説明した。質疑後採決し承認された。
第1回研修会	14:00 ~ 16:00 有田市民会館	85名	会員	「口から食べるためのアプローチ」 講師：済生会有田病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 田中智子先生	*視覚と実際の嚥下の実習もあり理解しやすく楽しい研修でした。参加者からは、もっと認定看護師の講義をとの貴重な御意見を頂きました。 *参加者のアンケート結果でも、81%の方が「良かった」という意見でした。
第2回役員会	H21年8月24日 13:30 ~ 15:00 有田市立病院	7名	役員	1、摂食・嚥下障害看護の研修会の振り返り 2、老人看護月間行事について 3、第2回研修会について 4、H22年度県看護協会事業に対する提案・要望事項について	
老人看護月間行事	H21年11月1日 10:00 ~ 13:00 湯浅町民体育館	16名 102名	役員及び 協力員 住民	湯浅町の「ゆあさ愛・あいまつり」に参加し、老人の方々や一般市民の方々の血圧測定・体脂肪率測定・健康相談等を実施。	*雨天にも関わらず、沢山の町民の方に参加して頂いた。 *役員及び協力員の方々との役割分担をし、スムーズに実施できた。
第3回役員会	H21年12月11日 18:00 ~ 19:00 ドリーム	9名	役員	1、老人看護月間行事の振り返り 2、第2回研修会について 3、22年度地区支部長について 4、看護連盟よりの報告	*地区の看護研究発表会は2年に1回とする。今回は認定看護師を講師の研修会とする。
第2回地区別 施設代表者会	H22年3月2日 14:00 ~ 16:00 有田市立病院		県協会長 役員 各施設代表者	1、H21年度事業実施について 2、H22年度県看護協会事業について 3、H23年度代議員数及び予備代議員選出について 4、新人看護職員卒後研修について 5、その他	
第4回役員会	同日・同所にて 16:00 ~ 17:00		役員	1、1日まちの保健室について 2、22年度支部総会について 3、第2回研修会の振り返り	
第2回研修会	H22年3月14日 14:00 ~ 16:00 有田市民会館	57名	会員	「呼吸管理」について 講師：日赤和歌山医療センター 集中ケア認定看護師 吹田奈津子先生	*「基本的なことから最新データも含めた内容で、わかりやすく役立つ研修であった」と好評でした。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行の会員だけでなく、未加入の看護師にも協会の活動を理解してもらうよう広報活動をするともに、魅力ある研修を企画し研修会などにも積極的に参加を呼びかけ、新入会員・再入会員の増加に努める。</li> </ul>				

日高地区支部

支部長 田中 澄代

活動目標

- 地域住民の健康をサポートし、地域と密着した活動を行う

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
1日まちの保健室	平成21年5月16日 10:00 ~ 15:00 オークワマン シティー御坊店	135名	地域住民	各種身体測定・健康相談・保健指導等	
第1回役員会	NHO和歌山病院	7名	支部役員	開催行事の反省及び総会について	
総会	平成21年7月4日 13:00 ~ 15:30 NHO和歌山病院	70名	看護協会員	平成20年度事業報告及び会計報告 1.平成21年度事業計画及び予算案 2.新役員紹介	
平成21年度 第1回会員研修会	同 上	75名	看護協会員 非会員	講演「ガンが病気になるくなったとき」 ～お父さんのおなかで遊ぶ～ 講師：愛知医科大学看護学部 岩崎 順子 先生	*講師の自宅介護体験を通しての講演は参加者に大きな感動を与え、「看護の仕事」のすばらしさを再認識できたことと明日からの仕事に対する意欲に繋がった。参加者の満足度は高かった。
第2回支部役員会	平成21年7月4日 15:30 ~ 16:00 NHO和歌山病院	7名	支部役員	総会及び会員研修会の反省 看護月間行事について	
第3回支部役員会	平成21年10月 17:30 ~ 18:00 NHO和歌山病院	7名	支部役員	11月開催予定看護月間行事について	*インフルエンザ流行により参加イベントが中止となった。それに伴い看護月間行事も中止する。
第4回支部役員会	平成22年3月5日 時間・場所同上	7名	支部役員	平成21年度第2回会員研修会について (看護連盟・看護協会合同研修)	
平成21年度 第2回会員研修会	平成22年3月13日 13:30 ~ 15:30	85名	看護協会員 看護連盟員 非会員	講演「即、役立つクレーム対応と接遇」 講師：人材育成コンサルタント オフィスタカハシ代表 高橋 美幸先生	*各施設の接遇やクレーム対応に関する悩みに対して、講師が実例で対応。実技を通してトレーニングを受ける。
第5回支部役員会	同 上	7名	支部役員	研修会の反省及び5月開催行事について	
今後の課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日高地区支部会員数増加にむけた取り組み</li> <li>2. 会員の施設間交流について</li> </ol>				

田辺地区支部

支部長 澤越純子

活動目標 1. 支部活動を通じて更に会員相互の連携を深める 2. 地域に根ざした活動を深め看護職への理解を深める

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
総第1回学習会	H21年7月4日(土) 13:30～15:30 田辺地域職業訓練センター	65名	会員	総会修了後、学習会開催 テーマ: フットケア 講師: 紀南総合病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 栗林明夫先生	フットケアの基礎知識と感染予防を学び、セルフフットケアの実践を学ぶ機会となり、日常の看護に結びつくことが多かった研修だった。
まちの保健室	H21年5月16日(土) 9:00～12:00 オーシェイ	役員9名	市民の方々	来店されるお客様に対して、血圧・体脂肪測定・健康相談に応じた	136名の方がご利用してくださり、健康の大切さを再認識する機会となり好評を得た。看護職への信頼も感じられた。
老人看護月間行事	H21年11月1日(日) 8:30～15:00 上富田文化会館広場	役員9名	上富田地区の住民の方々	かみとんだ健康福祉と文化のまつりの健康の部へ参加 測定・相談コーナー・血行測定	250名の住民の方々の健康チェックを行なった。文化のまつりと同時開催で大変に良かった。
第2回学習会	H21年11月14日(土) 13:30～15:30 南和歌山医療センター	85名	会員 非会員	テーマ: 新型インフルエンザ対処法について 講師: 南和歌山医療センター 感染管理認定看護師 吉倉有希乃先生	新型インフルエンザに関する情報が多数飛び交っている中、看護師としておさえて置かなければならない内容を解りやすくまとめたいただきタイムリーな講義であった。
第3回学習会	H21年1月16日(土) 13:30～16:00 南和歌山医療センター	136名	会員 非会員	テーマ: 看護実践が見える記録 講師: 神戸大学附属病院 看護師長 市村尚子先生	市村先生の講義は臨床の実践の場を踏んでの内容であり研修を受ける者としては即実践に向けられると好評だった。看護が見える記録の書き方を基礎から学び、倫理的に問題とならない記録や、質を向上させる監査のポイント等についても講義を受けた。
支部役員会	H21年7月4日 H21年11月14日 H22年1月16日 H22年2月13日 H22年3月5日		役員	学習会後に役員会開催 施設代表者会議	
看護研究発表会	H22年2月13日(土) 13:30～16:00 紀南病院	113名	会員 非会員	発表演題: 9題 好評: 南和歌山医療センター 片山末野先生	
看護協会・連盟合同学習会	H22年3月14日(日) 13:30～15:30 南和歌山医療センター		会員	テーマ: 看護職者が元気で働き続けられるために 講師: A-LINE株式会社代表取締役社長 中友美先生	
今後の課題	・会員の増加と会員相互の連携で、地域の看護の質の向上を目指す。				

新宮・串本地区支部

支部長 浦上眞千代

活動目標 会員の質の向上・業務の改善及び連絡調整を図る。

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
1日まちの保健室	平成21年5月16日	271名 7名	一般住民(役員)	1. 血圧測定 2. 体脂肪測定 3. 呼吸一酸化炭素濃度測定	「毎年測ってもらってるよ」と話して下さる方もいて定着してきているとの感もあるが、看護の日の行事であることを話しながら行った。
総会	平成21年6月27日	出席者 45名 委任状 181名	会員	議事はすべて承認された	
第1回研修会	平成21年6月27日	出席者 48名	会員	講演「看護専門職として存在する意義」 講師 岡部 恵子先生	・患者の気持ちに寄り添う気持ちを大切に。 ・「毎日何かを学ぶ」事を肝に銘じて行動。 ・自分の行動・言動、そして気持ちを振り返りながら聞くことが出来た。
老人看護月間行事	平成21年11月1日 太地町くじら祭り会場	506名 8名	一般住民 会員	1. 血圧測定 2. 体脂肪測定 3. 呼吸一酸化炭素濃度測定	・幅広い年齢層の方々の測定・相談に対応させて頂き、喜んで下さっていました。 ・毎年このイベントに参加させていただいていることもあり、定着してきていると感じた。
第2回研修会	平成21年10月31日 那智勝浦町役場 大会議室	40名 14名 5名 4名 合計 63名	会員 外 (看護師 PT・OT・ PT学生)	講演「脳血管障害に対するリハビリテーション」 ～急性期・回復期・維持期について～ 講師 田島 文博先生	・従来のリハビリテーションとは考えが異なることに驚いた。 ・リハの基本は麻痺の治療ではなく、麻痺があっても豊かな生活が送れるようにすること。 ・時間がかかっても出来る事は自分でできるように動きかけをし、見守りしていくようにすることが大事。
第2回地区支部施設代表者会議	平成22年3月 那智勝浦町立温泉病院		施設代表者		
支部役員会 (那智勝浦町立温泉病院)	平成21年9月15日	5名	役員	第2回研修会及び老人看護月間行事について	
	平成21年10月29日	5名	役員	研修会及び老人看護月間行事準備	
	平成21年11月26日	5名	役員	研修会及び老人看護月間行事反省	
今後の課題	平成22年1月28日	5名	役員	平成22年度地区支部活動計画について	
	会員増に向けての働きかけ(第2回研修会は、会員外の方の参加も試みましたが 顕著な会員増には結びつかなかった。)				

保健師のコーナー

保健師職能委員 寺本敦子

保健師の活動基盤に関する基礎調査を実施して

現在、保健師は様々な領域で活動している。  
厚生労働省から委託を受け先駆保健活動交流推進事業で保健師の就労条件や労働環境、現任教育等保健師が活動を展開していくための基盤に関する基礎調査を協会員だけでなく非会員も含めて実施しました。和歌山県は保健師のネットワークを活用して多くの方にご協力を頂き、回答数は391人中286人(78.1%)でした。ご協力、ご回答ありがとうございました。(全国回答率は53.1%)  
☆調査結果の概要☆  
(ポイント①) 最終学歴が大きく変化: 4年制大学卒が全体で24.6%、20代前半80%、後半66.1%と20代で4年制大卒が多く占め、これは現任教育において何らかの対応が必要と考えられる。(ポイント②) 管理職の割合(課長級以上): 都道府県は11.5%、市町村は4.3%で所属組織により差があり、都道府県と市町村の配置状況が違うことは課題である。(ポイント③) 保健師としての転職回数と理由:

転職経験のある者は全体の36.0%、20代の転職経験者の中には2回以上転職した者が22.9%に達している。(ポイント④) 現任教育: 同じ行政分野でも「市町村」は「都道府県」に比べ教育を受ける機会が少ない傾向にあり、所属組織により差がある。保健師の現任教育の現状は決して恵まれておらず、改善が求められる。(ポイント⑤) 保健師の現状認識・問題: 約4割の保健師が「分配配置により保健師間での連携・協力ができなくなった」「産休や育休による人員不足・代替要員の確保困難」「業務増加により、職場内研修が困難」を選択している。  
以上が調査の概要です。今後、報告書が作成され、様々な機会を通じて調査結果が皆さまのお手元に届くと思えます。今回の調査では市区町村保健師の回答が全体の半分の回答でした。22年度も実施します。会員の皆さまには、非会員の方、今回ご参加頂けなかった皆さまにもご参加ご協力頂けるように啓発をよろしくお願ひしたいと思ひます。

助産師のコーナー

助産師職能委員 前真紀



助産師職能委員として2年が過ぎようとしています。新宮市立医療センターに勤務していますので、最初は「遠いなあ」というのが正直な感想でしたが、今は月1回の職能委員会が待ち遠しくなりました。

職能委員として、中学生への思春期性教育や三職能合同研修会の手伝いに参加させていただき、普段の勤務ではできない経験ができ、勉強になりました。小委員会活動では、他のメンバーと共に災害マニュアルを作成し、母子手帳に挟む冊子に追加を依頼しています。

職能委員会で芝委員長はじめ、昨年と今年の委員の皆さんの助産にかける熱い思いや、経験談や、先を見越して勉強している姿に触れることで、「もっともっと、勉強しなくちゃ」と強く思うようになりました。  
今、新宮市立医療センターでは、母乳支援の方法を変更しようとしています。これまでのやり方を変えることはなかなか大変です。また、産科医不足、助産師不足、病棟の混合化、と色々問題はありますが、自分をしっかり持って他のメンバーと協力し、妊産婦さんから必要とされる助産師になるために日々スキルアップに努めなければと思っています。委員をさせていただき、多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。

看護師のコーナー

看護師職能委員 山口宣子

看護師職能委員となり、2年の任期が終了しました。第1回目の会議日、緊張しながら看護研修センター迄運転したことを思い出します。  
職能があることさえ知らない状態で参加しましたが、会議を重ねて交流を深めて行く度に、他施設の現状や私が勤務している病院との違いなどがよくわかりました。時にはある問題に対するの対策方法なども意見交換し、様々な視線から考えてゆく必要性、大切さを改めて再確認もし、認識も出来ました。月1回の会議でしたが、楽しみになってきました。1年目は先輩の後についていましたが、2年目からは一連の流れがだいたい理解できたので、少しは前に立ってやっていけたかなあとと思っています。  
平成21年度 看護師職能集会の講演「笑いとストレスマネジメント」もアンケートの結果、好評だったので今後も

員の皆様に興味をもって聞ける内容を考えていこうと話合いました。  
“笑う門には福来たる”をわすれずに日々過ごしたいと思っています。  
看護協会の課題として、中堅看護職離職防止、看護研修センター建設、協会の会員数増加対策等、問題がありますが、これらを少しでも解決できるのは、協会員である皆様の方が重要だと考えています。私個人としては、職能委員としての役割は終了しますが、これからは協会の一員として、微力ですが、協力していこうと思っています。他の会員様もよろしくお願ひします。  
職能委員になるチャンスがあれば、ぜひ経験していただければと思います。大変なこともあります。よい思い出になると思ひますよ。

独立行政法人労働者健康福祉機構 和歌山労災病院 皮膚・排泄ケア認定看護師

山田 桂子



皮膚・排泄ケアの領域はスキンケアを基盤とし、健康を害した皮膚や皮膚障害のリスクの高い脆弱な皮膚に対し、自然治癒力を最大限に活かして治癒を促すケアを行います。また、排泄は人間の基本的ニーズであり、身体の機能低下や社会生活を制限する排泄障害に対して苦痛を取り除き、尊厳を保ち、生きる意欲や人間らしさを取り戻すためのケアを援助することが求められています。

創傷の領域では、特に褥瘡予防の重要性が認識されてきています。2009年に日本褥瘡学会から予防の観点を含めた「褥瘡予防・管理ガイドライン」が出されました。これは予防から治療までの一貫した褥瘡対策の指針となるものです。既存のガイドラインは局所治療だけのものでしたが、今回は褥瘡の予防・発生後のケア・治療の全てが揃っています。日頃の褥瘡ケアの根拠の確認などにも活用してみてください。

また、この新ガイドラインの中で、DESIGN 褥瘡経過評価用スケールが「DESIGN-R 褥瘡経過評価用スケール」に改訂されたことが紹介されています。今までのDESIGNは点数により個々の褥瘡がよくなったか悪くなったかの評価

はできましたが、患者間の重症度は比較できませんでした。この点を可能にしたのがDESIGN-Rです。今後の褥瘡治療に活かしてください。

ストーマ領域ではストーマ周囲皮膚障害を評価する「DETスコア」が開発され、日本語版DETスコアが発表されました。これを使用することによってストーマ周囲皮膚障害の状態を同じ視点で観察することができ、早い時期に適切なケアを行っていくことが可能となりオストミーのQOLの向上に繋がると考えます。今後日本での信頼性・妥当性が検証され報告されてきます。注目していきましょう。

皮膚・排泄ケアは患者の日常生活に密着している分野です。自施設内では看護師が根拠を持ったケアを提供できるよう教育的な関わりを心がけています。認定看護師としてスタッフと共に看護の質の向上に取り組んでいきたいと思っております。

## 皮膚・排泄ケア

社会保険紀南病院 スキンケア室 皮膚・排泄ケア認定看護師 栗林 明夫



1996年日本看護協会は認定看護師教育を開始し、初めて分野特定された領域の1つがWOC看護（現在の皮膚・排泄ケア）でした。それから約10年が経過し、2009年では全国で約1100名、和歌山県内では7名の皮膚・排泄ケア認定看護師が活動しています。皮膚・排泄ケアの専門性はストーマケアを基盤として始まり、次第に創傷ケア（特に褥瘡、糖尿病性足潰瘍など生活に起因するもの）や失禁ケアへと拡大してきました。

皮膚・排泄ケア認定看護師の褥瘡ケアに関する医療経済効果が報告され、2006年に診療報酬として「褥瘡ハイリスク患者ケア加算」が新設されました。看護が独自に診療加算を勝ち取ったことは初めての快挙であり、看護師の専門性が社会的にも認められたことを証明しました。また、2008年には「糖尿病合併症予防管理料」が新設され、この加算対象となる専従看護師として皮膚・排泄ケア認定看護師も認められ、褥瘡のケアの専門家から足潰瘍のケアへと創傷ケアの活動領域が拡大されてきています。当院には、この

ような流れを築き上げてきた1名と、認定資格取得後2年目の私の2名が専従として活動が行えるよう配属されています。また、院内活動はもとより、院外活動も積極的に行えるよう配慮されています。

昨今、医療費適正化による平均在院日数の短縮や患者の意向などにより、早期に急性期病院からの転院・在宅療養へ移行するケースが増加しています。当院も例外ではなく、創傷を有したまま退院となることもあり、病棟・外来・地域連携室・地域のサービス事業者などとの連携した支援が行え、患者や家族が安心して過ごせるよう生活全体を視野に入れたサービスの提供が出来るよう取り組んでいます。

領域拡大されつつある看護分野であることを踏まえ、進歩する最新知識や技術の習得と、実践・指導・相談という認定看護師の役割を遂行できるように常に自己研鑽に努めたいと思います。

セカンドレベル研修を終えて 国保野上厚生総合病院 宮本 哲弥



今年度、初めてセカンドレベル研修が和歌山県看護協会で開催されました。期待と不安の中参加をしたのが、ついこの前だったように思います。約4ヶ月180時間の期間中講義と演習を最後まで受講し、無事研修を終了できるのかと不安ばかりが強かったです。しかし、研修が進むにつれて講義や演習での話し合いや検討をする中で、受講生25名に仲間意識が芽生え、各病院との情報交換もできるようになりました。25名の仲間がいたからこそ研修を最後まで乗り切ることが出来たような気がします。また、講師の先生方から元気をもらい、看護管理者のやるべき課題もたくさん

見えて、今後の自分自身の取るべき行動も見えてきました。私にとっては、セカンドレベル研修での学びと受講生25名の仲間は、自分自身の看護の糧となりました。

セカンドレベルでの研修は終了しさえすれば良いのではなく、患者様により良い医療・より良い看護を提供できるよう、看護管理者としてこれからどのように病院を、変革し課題を達成して行くかが重要です。

これから、セカンドレベルでの学びを風化させることなく、必ず医療・看護の実践に生かして行きたいと思っています。



社団法人和歌山県病院協会立和歌山看護専門学校

専任教員 七条 昌子



本校は、平成3年に開校してから、今年で20年を迎えます。平成9年7月に現在の和歌山市西庄に校舎新築して移転し、窓越しには海まで見わたせるとも良い環境です。教育課程は、3年課程と2年課程（通信制）です。

本校では、社会の期待に対応できるように、学生一人ひとりの能力を尊重し、人間性豊かで、看護に必要な専門的知識・技術と責任感・使命感・倫理観など、専門職としての態度を身につけ、誇りをもって看護実践できる人材の育成をめざしています。

課外授業として、華道・接遇・特別講演なども教育活動に加え、クラブ活動・親睦会・学校祭など、学生の自由な発想のもとに楽しく活動しています。ケーススタディの発表会なども同様に学生主体で、司会進行・意見交換をしています。また、戴帽式・卒業式など学校行事も、積極的に学生が自分たちで進め方などを考えて取り組んでいます。また早くから、喫煙問題に着目して「たばこ委員会」を学生主体で立ち上げ、学生の認識を変革する活動に取り組んでいます。そして、ボランティア活動やわかやま自主研究フェスティバルの参加も行っています。

自治会活動として「WAKAN学生会」を推進し、新入生の学校案内・成人を祝う会など独自の活動なども行っています。臨地実習においては、カリキュラムの変更に先駆けて、夜間実習を取り入れています。

これは、いくつもの実習病院の理解と協力のもとに実施しています。

職員については、学校づくり委員会を立ち上げて教職員が一体となり、学生や社会から選ばれる学校となるよう効果的な活動を目的として、運営・教育・環境・交流の4部会にわかれて活動を行っています。



## リレーエッセイ 友達の輪 Vol.32



社会保険紀南病院 村上 きみよ

夫が胆石の手術をしました。同時にメタボを思わず身体の変化にショックをうけ夫婦で歩くことにしました。今まで何気なく通っていた道ですが、意外と新しい発見することに気がきます。例えば熊野古道の遺跡を見つけたり。たまにはゆっくりと360度見渡せば新たな発見が一杯ある事を実感しています。また散歩する人の多いこと！見知らぬ人から挨拶されると照れくさいような、でも嬉しい気持ちになります。今後は散歩で四季を楽しみたいと思います。

今回は、社会保険紀南病院の看護師 坂本裕美子さんをご紹介します。

## 私の

## わたしのマイブーム

田辺保健所 尾崎 則子



2年くらい前から、美容と健康のために何か運動を始めようと思い出しました。運動はあまり得意ではないのでゆっくりと走るくらいならできかなあという軽い気持ちでジョギングを始めました。一人では、続きそうにないと思い、ジョギングクラブに入りました。また、長い距離は、走ったことがないのですが走った後は、いい汗をかいて体が軽くなった感じでとても気持ち

いいので続いています。また、友人もできてクラブの人に刺激されて昨年は3回マラソン大会にも出場し、走ることが楽しくなっています。最近、長い距離を走れるようになりたいなど、ささやかですが目標もできてしばらくは、マイブームが続きそうです。

第2回 プレゼント! 東洋羽毛関西販売(株)協賛

フットマッサージャー「プルピエα」2名様に

「図書券」1,000円分を5名様に

はがきに ①希望の商品名 ②氏名 ③会員番号 ④郵便番号・住所 ⑤電話番号 ⑥勤務先名 ⑦本紙へのご意見・ご要望を明記の上、6月25日(金)までにお送り下さい。(消印有効・1人1通のみ)  
 当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。  
 なお、応募者全員にボールペンをプレゼントします。

宛先 〒641-0036 和歌山市西浜 1014-27 和歌山県看護協会 「5月号プレゼント」係



フットマッサージャー「プルピエα」は低周波の刺激で、筋肉を中から動かし、上下のピン振動で、外からマッサージ。低周波とピン振動のダブルパワーで疲れた足を癒します。

**効果・効果**

- 血行促進
- 疲労回復
- 筋肉痛の痛みの緩解
- 筋肉の疲れをとる
- 筋肉のコリをほぐす
- 神経痛の痛みの緩解
- 末梢神経麻痺

東洋羽毛和歌山営業所 提供  
 定価¥81,700(税込) 〈問い合わせ☎〉0120-32-7766

〜〜東洋羽毛のサービス〜〜

- リフォーム …… 古くなったお布団を、新品同様にリフレッシュします。羽毛は、きれいに洗浄して、新しい生地に詰め替えます。また、使わなくなったダブルを、シングルなどに、作り替える事も出来ます。
- 補修・お直し …… 穴が空いてしまったり、破れてしまった時は、補修します。
- クリーニング …… 大きなお布団を、クリーニング店まで持って行く必要はありません。宅急便で、ご自宅まで取りに伺います。
- 特別注文 …… 製造メーカーなので、ご希望のサイズの、お布団を作ります

※お布団の事なら、何でもご相談下さい。

社団法人 和歌山県看護協会 推薦  
**東洋羽毛関西販売(株)**  
 和歌山営業所 〒6408329和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F  
 フリーコール 0120-32-7766  
 ホームページアドレス http://www.toyoumo.co.jp  
 大阪営業所 〒564-0062大阪府吹田市垂水町3-8-13  
 フリーコール 0120-88-2104

KANGOSHISHOKUNOUIINKAI

やさしい倫理だより 第9号



●発行責任者/看護師職能委員長 峰平一二美 ●/看護師職能委員会

**こんにちは！倫理綱領 条文Ⅹです！**  
 看護者は、他の看護者及び保健医療福祉関係者とともに協働して看護を提供する

**事例**

がんのターミナル期で入院している患者が家に帰りたくて希望しています。しかし、家族は「家につれて帰りたくて思うが、自分たちだけで世話が出来るか？何かあったら怖いし、亡くなったらどうしていいかわからない…」と不安である。看護者としては、患者・家族の思いを充分理解し、さまざまな職種の人と連携をとり、患者と家族を支えていく事が大切です。

- 他職種と連携をとり、互いに協働する**
- ① 医療ソーシャルワーカーと連携し、退院調整を行なう。
  - ② ケアマネージャーと連携し、ケアプラン作成を依頼する。
  - ③ 患者と家族・看護師・訪問看護師・訪問ヘルパー・ケアマネージャー・介護用品業者・

りん子のつぶやき 私達が保健医療福祉関係者と協働して、患者・家族を支えていきたいですね✌

この意味知ってる？ 三人寄れば文殊の知恵

「三人寄れば文殊の知恵」が由来

# 和歌山県看護協会の動き

## ＝ 新公益法人 移行に向けて ＝

### 「法人制度改革検討プロジェクト」発足

平成 20 年 12 月に新公益法人制度がスタートし、和歌山県看護協会も平成 25 年度新公益法人体制の移行に向けて、基本目標の検討や具体的な事業項目の整理、定款・諸規定の整備など準備を進めていく必要があります。そうした内容を審議するため、「法人制度改革検討プロジェクト」を設置しました（H22.3.26 第 6 回理事会決定）。

メンバーは、外部委員（専門家代表）として、本協会の顧問公認会計士をはじめ、会長以下協会幹部 4 役、地区支部長代表、監事で構成しています。

今後は、このプロジェクトチームを中心に、近畿府県の各看護協会とも歩調を合わせながら取り組んでまいりますので、よろしくお願い致します。

### 第 6 回常務理事会・第 6 回理事会

平成 22 年 3 月 26 日（金） 10:00～12:30  
13:30～17:00

#### I 協議事項

- 平成 22 年度事業計画（案）について
  - 平成 21 年度事業実績の評価・各地区支部・職能委員会から提出された要望・提案事項からの検討
  - 国の施策や保健医療福祉の動向・日本看護協会重点事業の反映
  - 和歌山県の新たな「保健・医療・福祉計画」の動向等のことから計画
- 1) スローガン（案） 重点事業（案）について
- 2) 事業計画（案）
- 3) 教育計画
  - 教育理念・目的、研修プログラムについて
2. 平成 22 年度一般会計予算（案）について
3. 新看護研修センター土地確保と建設について
  - 委員会での 1 年間の取り組みについて
4. その他
  - 公益法人移行に向けて
    - 法人制度改革検討プロジェクトチーム立ち上げについて
  - 平成 23 年度日本看護協会総会代議員選出について
    - 選出方法について
    - 和歌山県看護協会からは代議員 6 名 と予備代議員 6 名

#### II 報告事項

- 平成 21 年度第 1 回審議員会報告
  - 平成 22 年度日本看護協会通常総会について
  - 日本看護協会の新定款（案）新細則（案）について
  - 平成 21 年度事業報告（案） 平成 22 年度スローガン（案） 重点事業（案）と事業計画（案）について
- 平成 21 年度第 2 回都道府県職能委員長会報告
- その他
  - 平成 22 年度和歌山県看護協会長表彰推薦について
    - 各地区支部、各職能委員会からの推薦候補 10 名を推薦決定
  - 看護協会ネットワークシステムについて
    - セキュリティー強化対策
    - パソコン 4 台の更新
  - その他
    - 和歌山県看護専門学校 2 年課程（通信制）進学者に対する奨学金募集について
      - 23 年度の募集要項について
      - 推薦入試について
    - ハイチ大地震に対する国際看護協会等への募金活動への協力について
    - 平成 22 年度各委員会への諮問事項（案）について

